



広島ビッグアーチ  
Hiroshima Big Arch



原爆ドーム  
A-Bomb Dome



広島市民球場  
Hiroshima Municipal Baseball Stadium



平和記念公園  
Peace Memorial Park



1 広島駅	JR山陽本線 5分	2 横川駅	バス 12分 (広島高速4号線)
3 広島バスセンター	バス 7分	2 横川駅	バス 12分 (広島高速4号線)
4 アストラムライン県庁前	バス 13分 (広島高速4号線)		
広島空港	アストラムライン 33分	6 大塚駅	バス 2分
岩国駅	高速バス 38分	5 中筋駅	アストラムライン 20分
	高速バス 57分	6 大塚駅	バス 2分

バス停は「広島市立大学前」「広島市立大学入口」の2カ所ありますのでご注意ください。

自動車での所要時間 山陽自動車道五日市I.C.から約6分 広島自動車道広島西風新都I.C.から約15分



巖国神社  
Itsukushima Shrine



広島市立大学の魅力にアクセス!

<http://www.hiroshima-cu.ac.jp>

最新の学内ニュースから入試情報、キャンパスライフまで、  
広島市立大学のすべてを紹介。

[入試に関するお問い合わせ先]

事務局入試担当 Phone 082-830-1503  
e-mail:nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp



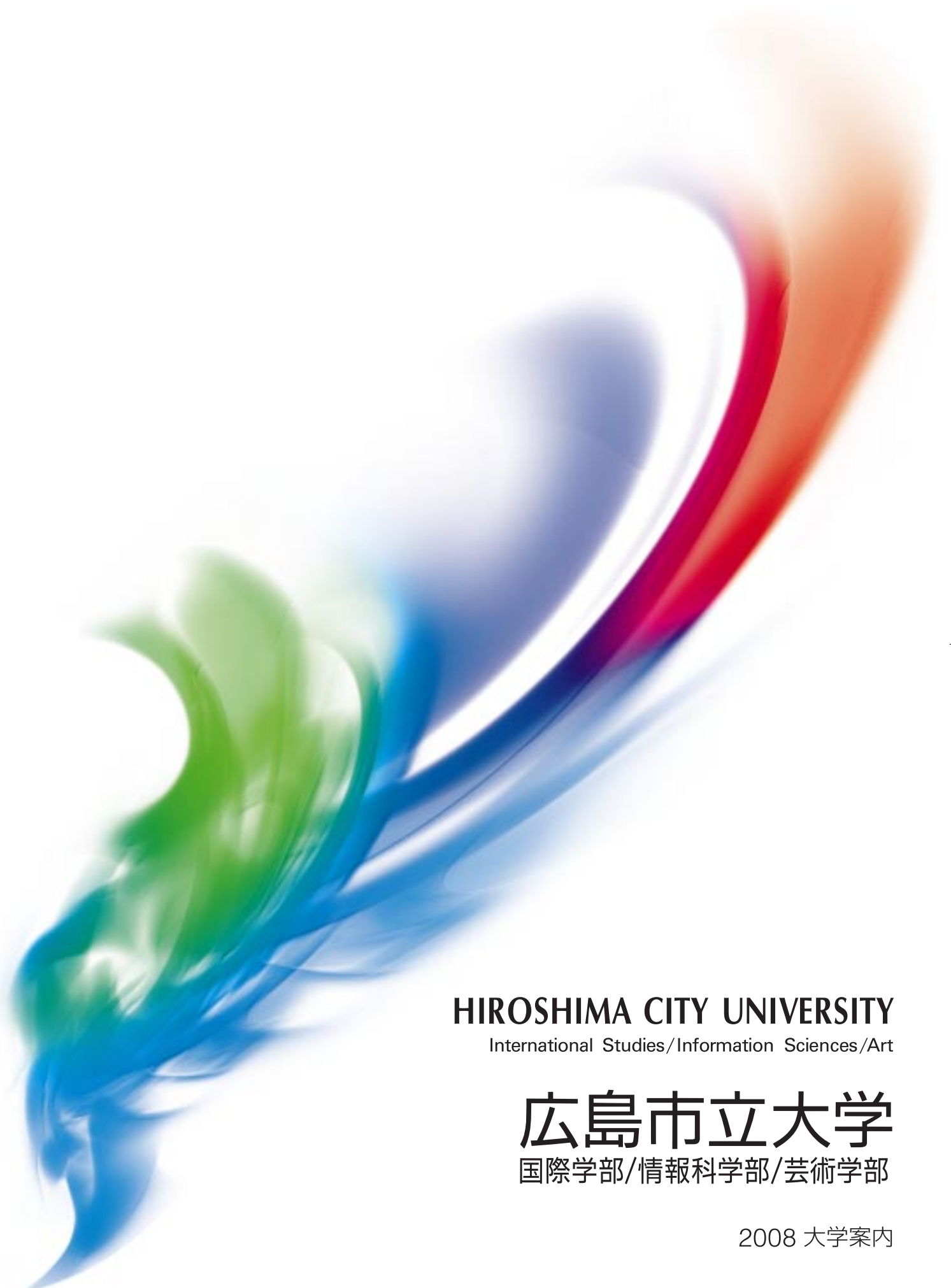
広島市立大学  
国際学部/情報科学部/芸術学部

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号  
Phone 082-830-1500(代) Fax 082-830-1656



古紙/UV-配合率100%再生紙を使用しています

広島市立大学 広報委員会 登録番号 広W0-2007-32

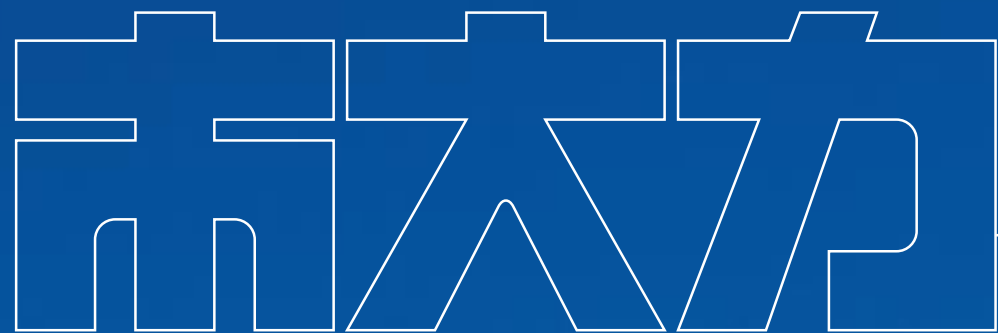


HIROSHIMA CITY UNIVERSITY  
International Studies/Information Sciences/Art

広島市立大学  
国際学部/情報科学部/芸術学部

2008 大学案内





**POWER OF**  
HIROSHIMA CITY UNIVERSITY

# 独創性あふれる クリエイティブ集団

自ら考え、自ら動く。好奇心旺盛に興味ある分野をとことん追究し、個性豊かに表現していく…。

研ぎすまされた感性と自由な思考、実行力、そしてそれを生み出す学びの環境。

そのすべてがバランスよくあわさって、新しい時代、新しい文化、新しい伝統を創造していくチカラとなる。

市大カ。それは独創性あふれるクリエイティブ集団が放つ確かな存在感。

## INDEX

夢を実現した卒業生	3
アートな施設が創り出す学び空間	5
夢に向かって進む市大生	7
学部構成／学長・市長メッセージ	9
<b>国際学部</b>	
教育方針／構成	11
国際学部卒業生	13
5つのプログラム	15
英語力・多言語力	19
国際力	20
国際学部在学学生	21
<b>情報科学部</b>	
教育方針／構成	23
情報工学科	25
知能工学科	27
システム工学科	29
学部総合科目／研究設備	31
研究紹介	33
<b>芸術学部</b>	
教育方針／構成	35
美術学科	37
美術学科学生作品	39
デザイン工芸学科	41
デザイン工芸学科学生作品	43
創造工房	45
大学院	47
就職	49
サポート体制	53
キャンパスマップ	55
キャンパスライフ	57
地域・世界に開かれた大学	59
入学試験	61

International Studies

Information Sciences

Art





**K** Art  
Kozue KODAMA

2003年3月 芸術学部 美術学科 油絵専攻 卒業

**絵を通して多くの人と  
出会う喜びがチカラに。**

**こだま こそえ** | アーティスト・女優

壁画制作やライブペインティングは、環境やそこに住む人たちの共感を得て初めて、その絵の存在価値が生まれるのだと思います。絵を描くことによって広がりが深まった人とのつながりが私の活動の基盤となっています。市大時代においても、今なお一緒に活動できる仲間と出会えたことが一番の喜びです。また、具象を描き続けることで培われた基礎も、自分らしさを表現できる世界を見出し、活動の幅を広げていくことに役立っています。

広島市の太田川放水路に架かる  
新己斐橋の橋脚に壁画制作 (2007年3月)



**H** International  
Studies  
Haruki HARUKI  
2004年3月 国際学部 国際学科 卒業

**迷った時は常にGO！サイン**

**春木 寛之** | 監査法人トーマツ 勤務 公認会計士

企業の会計を企業の外部からチェックする公認会計士。市立大学で学んだ知識の根底にある理論を押さえ、そこから物事を考えていく本来の学問のスタンスが、仕事の上でも大いに活かされています。仕事でも人生でも迷うことは多いですが、迷った時は常にGOサインと思って、これからも突き進みます。



**S** Information  
Sciences  
Achiko MATSUMOTO  
2005年3月 情報科学研究科 博士前期課程 知能情報システム工学専攻 修了

**どんな仕事でも  
やりがいを見つけ、楽しむ！**

**松本 幸子** | 日本IBM株式会社 勤務  
メインフレームシステム開発 第8デリバリー

主にWebアプリケーションシステム開発におけるデータベースの設計と構築を行っています。仕事をしてくるお客様との業務や課題を理解し明確にすることはもちろん、自己管理も大切と考え、体調や自分の能力を常に把握し、責任ある行動をとるよう心がけています。市大時代、素晴らしい先生方のもと、ITに関する知識だけでなく、精神的な強さも身につけたことが、私の活動源になっています。



FILE.1 | 夢を実現した 卒業生

# 活躍めざましい 市大生

POWER OF HIROSHIMA CITY UNIVERSITY

自ら学び、自ら動き、まっすぐに夢に向かって歩き続け、自らの手で未来を拓いた卒業生たち。

そして今、多彩な分野でめざましい活躍をみせ、その輝く個性、確かな存在感を示している。



2004年3月 芸術学研究科 博士前期課程 造形計画専攻 修了

**仕事も生き方も  
コンセプトやビジョンが大事**

**鈴木 隆一** | 任天堂株式会社 勤務  
企画開発部アートワークデザイングループ

商品開発からプロモーションまでトータルに関わることができ、「創る」手ごたえを感じる毎日。市大時代に培った表現への強いこだわりや質の高いデザインへの取り組み、また先生や先輩方との交流を通して身につけた多角的にアプローチをする視点や考え方が、今の仕事に活きていると思います。

**R** Art  
Ryuichi SUZUKI



**S** Information  
Sciences  
Atoshi MASUDA  
2000年3月 情報科学研究科 博士前期課程 情報数理学専攻 修了

**目標を見つけた時がスタートの時！**

**益田 智史** | 株式会社チャネット 代表取締役

他大学に先駆けてパソコン等の最新設備を整えた市大で専門知識と技術を学んだことが、私の“起業”への思いに弾みをつきました。現在、システムの企画から開発・運用、人材の育成・派遣まで幅広い業務を通して、人と人を結ぶネットワークを構築。若者の夢と企業の未来の架け橋となるべく邁進中です。



**H** International  
Studies  
Isae FUJIOKA  
2003年3月 国際学部 国際学科 卒業

**生徒の数だけ喜びも感動もある！**

**藤岡 寿江** | 広島県立福山誠之館高等学校 勤務

学生時代、ゼミの先生に講義の内容だけでなく、将来のことなどいろいろと聞いていただいたことが今も心に残っています。私も英語教師として、一人の人間として生徒の話をお聞きして聞ける教員でありたいと思っています。



**N** Art  
Natsuko HAMANASHI  
2005年3月 芸術学研究科 博士前期課程 彫刻専攻 修了

**自分のめざすものを  
つかむためイギリスへ留学！**

**濱橋 奈津子** | イギリス留学準備中

私がめざすのは、素材も手法も自由、けれどきちんとコンセプトをもって活動するアーティスト、コンセプチュアル(考え方)の訓練を受けながら、市大で磨いた技術と感覚をさらに高めるためにイギリスの美術大学へ留学します！



**K** Information  
Sciences  
Miyu FUJII  
1998年3月 情報科学部 情報工学科 卒業

**自分に何ができるかを考えながらポジティブに生きる**

**藤井喜美代** | NTTコミュニケーションズ株式会社 勤務  
NTT Europe Ltd. ITP Team

現在、ロンドンにて欧州に拠点を持つ日系企業に対して情報共有システムの提案、構築、運用等を行っています。さまざまな人種や文化背景を持つ人々との共同作業は、考え方の違いなどに戸惑いや慣れを感じる一方、実に新鮮で刺激的です。市大で多様な学問を学んだ人々を通して自分とは異なる価値観と出会い、違いを受け入れることの大切さを学んだことが今につながっています。





FILE.2 | アートな施設が創り出す **学び空間**

# この環境が育む 迫力の 未来力

POWER OF HIROSHIMA CITY UNIVERSITY

新しい発見、新しい出会い、新しい夢が待つキャンパスは、どこをとっても絵になる風景がひろがる。  
アカデミックでありながら、斬新でユニークな学び空間に、知的好奇心が、感性が大いに刺激される。



- 01- 学部別棟間連絡路  
すがすがしい風が吹き抜ける連絡路。学部を越えた学びが行き交う。
- 02- 情報科学部別館  
洗練された知の空間。ここから未来の情報技術が発信される。
- 03- 講義棟  
肉声が最後列席まで届く。音響にも配慮した機能的かつ美しい講義室。
- 04- 食堂  
豊富なメニューに思わず笑顔。学生たちの楽しい交流の場。
- 05- 長崎平和の鐘  
被爆50周年にあたり日本労働組合総合連合会から広島市に贈呈され、次代を担う若者を育てる本学に設置。
- 06- 憩いのベンチ  
芸術学部の学生がデザインしたベンチ。商品化も検討され多彩なシーンを彩る。
- 07- 講堂  
芸術学部教授等の手による舞台の縦板や壁面レリーフは本学ならではの。
- 08- 学部棟エントランス  
モダン＆開放的な空間がすぎだす充実した楽しい学生生活。





二科展で「特選」受賞！  
芸術の存在意義を伝える作家に  
芸術学部 芸術学科 博士前期課程 彫刻専攻 2年 山中 洋明



大学院でプログラミングをさらに究める  
情報科学部 知能情報システム工学科 4年 引地 美穂



金属の楽しさ、  
奥深さをもっと追求したい  
芸術学部 デザイン工芸学科 3年 植木麻衣子



ドキュメンタリーを制作。  
情報発信のおもしろさを実感！  
国際学部 国際学科 4年 池野内真弥



描くことは自分の  
存在を確かめる唯一の方法  
芸術学部 美術学科 4年 若佐 慎一



真剣に学べばもっと楽しい！  
国際学部 国際学科 2年 橋本 奈美



ボランティアに参加！  
世界の子ども達と交流  
国際学部 国際学科 3年 佐藤 未希



みんなでつながる！語学力を活かし社会貢献  
国際学部 国際学科 3年 梶川 直樹  
国際学部 国際学科 3年 齋原 圭太  
先人達の思想に触れ「考えること」の奥深さを知る



金融を学び世界とつながる！  
国際学部 国際学科 4年 塚本 直子



泣いて笑った大学祭。  
完全燃焼！  
情報科学部 情報工学科 2年 三木 佑亮



次世代コンピュータ  
づくりに挑戦！  
情報科学研究科 博士後期課程 情報科学専攻 2年 鈴木 圭介



テスト設計の学びを  
将来に活かす！  
情報科学部 情報機械システム工学科 4年 牛丸 裕子

FILE.3 | 夢に向かって進む 市大生

# 未来は自分でつくる <sup>熱き</sup> 市大力

POWER OF HIROSHIMA CITY UNIVERSITY

たくさんの友だち、先生、広く深い学び…そのすべてを自分のエネルギーへと変えて、未来への階段を駆け登る市大生。  
夢を語るそのまなざしは、熱く、力強く、そしていきいきと輝いている。



日本画絵具はナマモノ。手強い！  
芸術学部 美術学科 2年 中町明日香



モノとヒト  
関わりを軸に  
芸術学部 デザイン工芸学科 3年 嶋田 美穂



IT×音楽の世界を  
爆走中！  
情報科学部 情報メディア工学科 3年 小方 祐馬



時間を忘れて没頭できる事!!  
芸術学部 美術学科 2年 安田 堂



プログラミングの  
世界は奥が深い！  
情報科学部 情報機械システム工学科 4年 正木 悠太



柔軟な心で染めつづけたい  
芸術学研究科 博士前期課程 造形計画専攻 1年 小森 園子



ロボット製作には情報工学の基礎がギョッ！  
情報科学部 情報機械システム工学科 4年 位田 研基

回路の故障の究明は  
パズル感覚！  
情報科学部 情報機械システム工学科 4年 丸谷 剛



日々戦い。日々成長。  
芸術学部 美術学科 3年 堀内絵莉香



世の中の人々の  
役に立つもの作りを！  
情報科学研究科 博士前期課程 システム工学専攻 1年 大場 勇治



貿易を通して  
日韓の架け橋に！  
国際学部 国際学科 3年 金 祐賢



商品開発に興味しんしん！  
国際学部 国際学科 3年 大津 慶子



CGでつくるオセロゲーム。  
楽しい！難しい！  
情報科学部 知能情報システム工学科 4年 島田 麗聖



私ならではの作品で観る人を感動させたい！  
芸術学部 美術学科 3年 星子紗矢佳



トルコでの大学修繕  
ボランティアは貴重な体験  
国際学部 国際学科 4年 谷口奈々子

放課後は貴重な  
コミュニケーションタイム  
国際学部 国際学科 4年 川畑 直毅



英語が使える秘書になる！  
国際学部 国際学科 3年 石橋 歩

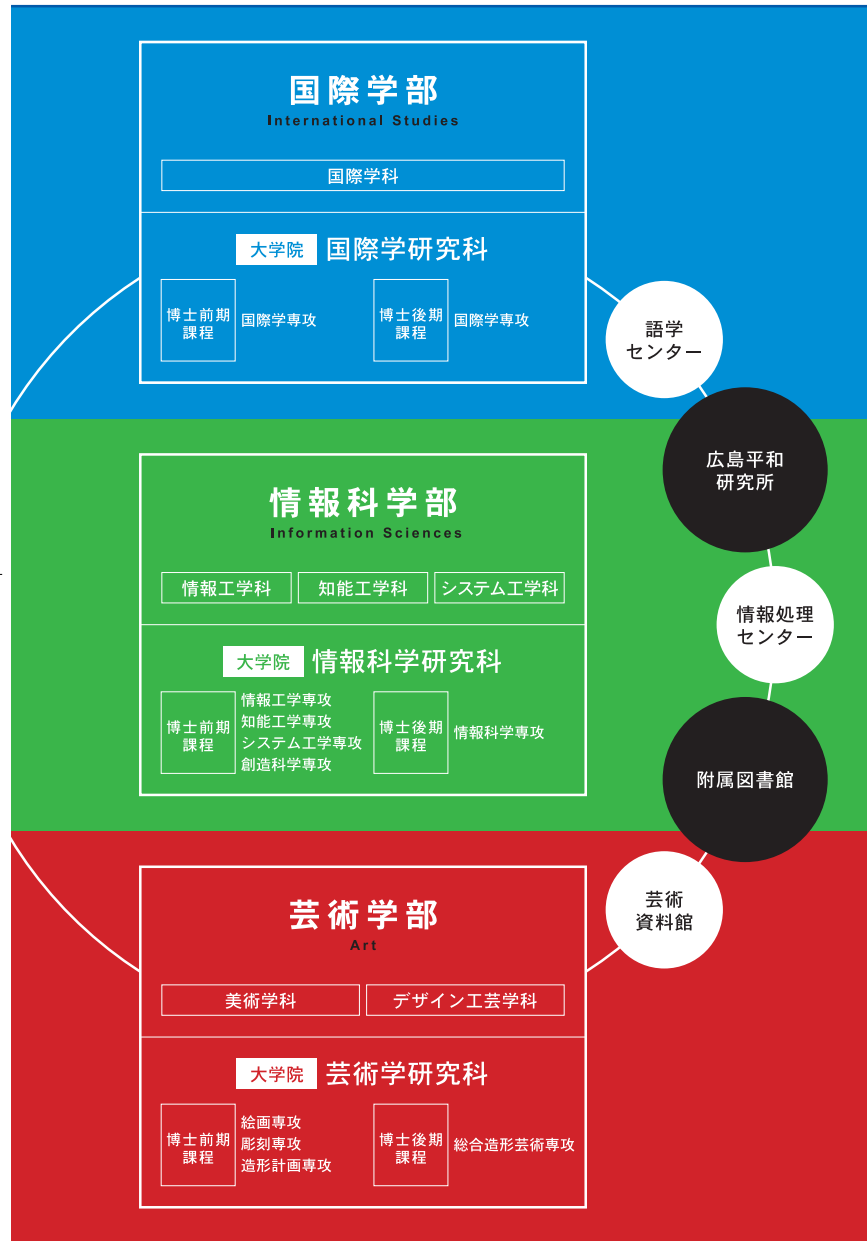


# 3学部が強く深く 響きあう 市大 POWER OF HIROSHIMA CITY UNIVERSITY

国際・情報科学・芸術の3分野において専門を深め、広げる教育を展開。

各学部による専門性の追究とともに、3学部の連携によって幅広い視野と専門分野を越えた知識を習得し

21世紀を生きるために必要な「知性」「感性」「理性」をバランスよく育みます。



## 地域に貢献する国際的な大学 科学と芸術を軸に世界平和と

21世紀をいきるために必要な「知性」「感性」「理性」をバランス良く磨く。

広島市立大学では、21世紀を迎えて社会的要請がより強まっている国際、情報科学、芸術の3分野にわたる専門的な教育・学術研究機関として、それぞれに対応した国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部を設置しました。各学部には、その社会的要請に、より細かく対応する学科を開設しています。

国際学部は、国際学科にて「国際政治・平和」「公共政策・NPO」「多文化共生」「言語・コミュニケーション」「国際ビジネス」の5つのプログラムを設定しています。

情報科学部は、情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科で構成しています。芸術学部は、美術学科とデザイン工芸学科の2学科で構成、美術学科は日本画、油絵、彫刻の3専攻を擁しています。

各学部には、いずれも個性的で、幅広い知識や能力が身に付くような独自のカリキュラムを編成し、それぞれが有機的に連携し、相互に乗り入れながら、相乗効果を発揮しています。



### 全学共通系科目

区分	科目
全学共通系科目	総合科目
	地球環境論 創作と人間の健康 心の健康・身体 情報とメディア 情報社会論 情報と企業 ひろしま論 平和と人権A(ヒロシマと国際平和) 平和と人権B(現代世界と人権) NPO論
	共通科目A
	哲学A・B 世界の宗教 心理学 歴史学A・B 現代史Ⅰ・Ⅱ 世界の文学 法学(日本国憲法) 政治学 経済学 社会学 文化人類学 自然人類学 経営学 知的財産と社会
	共通科目B
	数学概論 物理学概論 基礎物理学 化学概論 基礎化学 生物学概論 基礎生化学 情報科学概論 物理・化学実験
	共通科目C
	ディクソン概論 油絵入門 日本画入門 立体造形概論 プレゼンテーション技法概説 デザイン工芸概論 コンピュータ・アート
	情報処理科目
	一般情報処理A 一般情報処理B
保健体育科目	
健康科学 体育実技Ⅰ・Ⅱ	

### 学部を越えた学びを通して、人間の幅を広げる

理解・判断・表現力を専門的かつ総合的に修得。

「総合共通科目」「一般情報処理教育科目」「保健体育科目」の3分野で構成。各専門分野の複合領域をはじめ、人間と文化・社会・科学との関わり、創造と表現、コンピュータリテラシー(電子メール、情報検索、文章作成など)を学習します。さらに心身両面の健康づくりについて学びます。

### ユニークな科目

#### 「情報とメディア」

1年生対象 2単位 選択  
ネットワーク環境の急速な進展に伴い、従来のメディアに対する概念なども変化しています。その変化が社会にもたらした影響について考察し、現代のネットワーク社会を安全に活用するためのリテラシー育成を目的としています。

#### 「ひろしま論」

1年生対象 2単位 選択  
広島市の歴史、行政、経済、文化などをひとまとめでその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識をもった人材を育てることを目的としています。

#### 「平和と人権A」(ヒロシマと国際平和)

1年生対象 2単位 選択  
特に「平和」の側面に焦点を当て、現代社会におけるその意識、構造、実現の課題について探求します。できるだけ多方面のゲスト講師を招いて、広島の被爆体験を軸に、様々な角度から広島と平和の問題について考えます。

### 外国語系科目・資格取得科目

区分	科目
外国語系科目	CALL英語集中Ⅰ～Ⅳ 英語応用演習Ⅰ～Ⅳ 科学英語演習Ⅰ・Ⅱ ドイツ語Ⅰ～Ⅳ フランス語Ⅰ～Ⅳ 中国語Ⅰ～Ⅳ ハンガリー語Ⅰ～Ⅳ アラビア語Ⅰ～Ⅳ ロシア語Ⅰ～Ⅳ イタリア語Ⅰ～Ⅳ スペイン語Ⅰ～Ⅳ 日本語Ⅰ～Ⅳ
	教師論 教育原理 教育心理学 教育経営学 人権教育論 教科教育法(英語)A・B 教科教育法(数学) 教科教育法(情報) 教科教育法(美術)A・B 教科教育法(工芸) 道徳教育論 教育課程論(特別活動を含む) 生徒・進路指導論 教育相談論 総合演習A・B・C 教育実習Ⅰ・Ⅱ
教育職員免許状受領資格取得関係科目	教育原理(再掲) 社会教育概論 教育方法・技術論(再掲) 博物館概論 博物館経営論 博物館資料論 博物館情報論 博物館実習
学芸員資格取得関係科目	

### グローバル時代を生き抜く語学力を身につける

国際人の基礎＝語学力を実践的に修得。

語学センターの最新設備機器を有効に活用。また外国人教員による直接指導、多彩な教材の利用など、ハードとソフトの両面から充実させた学習環境のもと、実践的な語学力の修得を目指します。特に学習機能を高めることによって、読み、書き、話し、考える総合的な英語力を養います。

#### 「CALL英語集中Ⅰ・Ⅱ」

1年生対象 各1単位 全学部必修

#### 「CALL英語集中Ⅲ・Ⅳ」

2年生対象 各1単位 国際学部・情報科学部 必修  
芸術学部 選択

語学センターのコンピュータを用い、主として英語のリスニングとリーディングを集中的に訓練します。通常の授業のように教員が週1回授業するといった形態をとらず、指定された期間中(約2か月)、自分の都合のよい時間に自分のペースで学習します。学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを実施し、英語力及び学習効果を測定します。



広島市立大学長 浅田 尚紀 Naoki ASADA

広島市立大学は、広島市の都市像である「国際平和文化都市」にふさわしい大学づくりを目指して、平成6年(1994年)4月に「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念として設立された、国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部から成る大学です。各学部のカリキュラムは、それぞれの学問分野の教育・研究を通して専門性を深めると同時に、3学部の連携による総合科目や共通科目によって、幅広い視野と専門分野を越えた知識が修得できるように構成しています。大学卒業後、さらに高度な学術研究を目指す人のために、それぞれの学部に基づいて3研究科から成る大学院博士前期・後期課程を設置しています。また、核兵器廃絶と世界平和を実現するための研究を行う広島平和研究所を設置していることも本学の特色です。広島の地で国際、情報科学、芸術そして平和について学び、世界と地域に貢献する人材を目指す皆さんの入学を待っています。



広島市長 秋葉 忠利 Tadatoshi AKIBA

広島市立大学は、「国際平和文化都市の「知」の拠点——地域と共生し、市民の誇りとなる大学——」を目標として掲げています。「国際」「情報科学」「芸術」の3学部から成るユニークな学部構成を特徴としており、その特色をいかに教育と高度な学術研究の成果を地域に還元するとともに、広く世界に発信しています。広島市立大学を志望し入学される皆さんにはこの目標を共有し、さらに次代を担う豊かな感性と創造力を最大限に活用して、一つの枠にとらわれない柔軟な思考、言い換えれば、複眼的思考能力を培っていただきたいと思います。そして、ここ広島で学ぶことの歴史的意味あるいはヒロシマの人類史的意味についても考える学生になってほしいと願っています。これから皆さんが創る21世紀を輝ける時代にするため、本学において充実した学びと悔いのない学生生活を送っていただくことを心から期待しています。

広島市立大学を志望し入学される皆さんにはこの目標を共有し、さらに次代を担う豊かな感性と創造力を最大限に活用して、一つの枠にとらわれない柔軟な思考、言い換えれば、複眼的思考能力を培っていただきたいと思います。そして、ここ広島で学ぶことの歴史的意味あるいはヒロシマの人類史的意味についても考える学生になってほしいと願っています。これから皆さんが創る21世紀を輝ける時代にするため、本学において充実した学びと悔いのない学生生活を送っていただくことを心から期待しています。



# 国際学部

国際政治・平和プログラム／公共政策・NPOプログラム／多文化共生プログラム／  
言語・コミュニケーションプログラム／国際ビジネスプログラム



地球ベースの自由な学びを通して  
未来の私が見えてきた。

## 人間力で時代をひらく

人間に興味のある人、国連で働きたいと思っている人、言葉に関心のある人、行政やビジネスにたずさわりたい人など、さまざまな想いや志とともに大学での学修を考えておられることと思います。

どんな道を進むにしても、これからの社会で求められているのは、世界各地の違いのありかたを尊重し、共生の必要を理解できる国際的な感覚を備え、さまざまな分野の知識を5つのプログラムを通して、単なる情報としてだけでなく、問題の解決に役立つべく統合された新しい知を身につけた人でしょう。

生じているグローバルあるいはまたローカルな問題を見つめ、複雑な現実を理解し、その解決をめざすためには、学問の境界を越えた複眼的視点を持ち、多面的に分析することが必要です。併せて偏ることなく、ものごとを寛かにみる目が必要でしょう。

この実現は平和の探求にもつながっています。

## 学問と生き方 国際学部長 大東和 武司 Takeshi OHTOWA



人を信じることは大切です。ただ、学問との出会いにおいては、先入観をもたない、疑ってみようということが大切にならうかと思っています。先入観のない判断、人が信じきっていることを疑ってみることから始めて、そして得られた成果が社会を発展させ、人びとのつながりを深め、信頼感ある社会構築への一助になっています。「人が信じきっていること」を疑いはするが、「人」は信じる。国際学部で、強い信頼関係でコミュニケーションできる人をたくさんつくってください。国際学部での学び、出会い、生活がパワーとなり、エネルギーを生み、20年、30年もの長きにわたる生涯の大きなバックボーンとなることでしょう。

## 多角的なアプローチを通して豊かな人間力を育む

大学院 国際学研究所 博士後期課程 3年 Pepijn van HOUWELINGEN、国際学科 2年 重村 なぎさ、2年 別所 保紀 (写真左から)

### International Studies

#### 求める人物像 Admission Policy

- 21世紀の国際社会に関する学習意欲**  
国際社会が抱えているグローバルな問題、地域社会で生じているローカルな問題に関心を持ち、それらの解決を真摯に考える人。
- 共生と境界を越える思考の追求**  
学問分野、地域・国などの境界を越えて、問題を考え、その解決を探求し、寛大な精神を身につけようとする人。
- 地域社会への貢献と国際的な活動の展開**  
ひとりひとりが卒業後に地域社会で貢献し、さらには国際的な活動を展開していくための、しっかりとした基盤を築こうとする人。

#### 教育方針

- 「学際性」の実現に向けて
- 5つのプログラムの可能性
- 少人数の魅力
- 丁寧で、適切なサポート体制

#### 1年次

##### ■基礎演習

- 国際研究入門**  
多様で複雑な現代国際社会について学際的に理解を深めながら、国際学部で学ぶ意義を考えます。
- プログラム入門科目**  
5つのプログラムの案内をします。

全学共通系科目・外国語系科目・資格取得科目

#### 2年次

##### ■発展演習

- 国際政治・平和プログラム
- 公共政策・NPOプログラム
- 多文化共生プログラム
- 言語・コミュニケーションプログラム
- 国際ビジネスプログラム

核とする5つのプログラムを

#### 3年次

##### ■専門演習

#### 4年次

##### ■卒論演習 ■卒業論文

進路については P.50

#### 取得可能な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)
- 博物館、美術館などの学芸員



国際学部  
卒業生!

# 自分を信じ、自分に期待。可能性に積極チャレンジ!

アイ・シー・ネット株式会社  
業務推進部プロジェクトマネジメントグループ 勤務

どんな状況でも自分の軸をしっかり保つ。市大での学びが人生の礎に。

本村 公一 Koichi MOTOMURA  
1999年3月 国際学部国際学科卒業

### 支援を受ける人たちの視点に立った活動を

フィリピン共和国において、30年以上に及ぶミンダナオ紛争の影響による最貧困地域の復興開発計画の策定、緊急復興のための試験的事業の立案・実施に携わっています。同地域の貧困を削減し、平和の促進・定着に貢献することをめざしており、現場でエネルギー溢る人々と議論しながら、一緒に行動し、彼らの状況を改善していくことに大きなやりがいを感じています。その一方、開発コンサルタントとしての私たちの仕事は、途上国の厳しい生活・治安環境の中、異なる文化や慣習、制度に順応するだけでなく、時にはそれと闘う姿勢も求められます。孤独や葛藤の中で乗り越えなければいけない困難もまた大きい仕事だと思っています。

### 何らかの抑圧に苦しむ人々を支援したい

そんな私を支えてくれているのが市大時代、学部横断の講義や課外活動を通して多種多様な価値観に触れ、学んだ“自分の軸をしっかり保つための術”で、私のゆるぎない礎になっています。今後はこれまでの経験を活かし、国際協力という枠に縛られることなく、誰かを元気にする活動、そしてそれができる後進を育てる活動もしていきたいと思っています。



マダガスカル・バオバブの大自然とともに



マダガスカルのお気に入りの夕景



フィリピンで仲良くなったことも



南アフリカ・女性ビジネス促進プロジェクトのメンバーと



NHK 報道番組センター 政経国際番組部 勤務

自分の目で見た事実を語る。市大時代にたたきこまれた“現場主義”が私の原点。

花井 利彦 Toshihiko HANAI  
1999年3月 国際学部国際学科卒業

### 熱い思いやひたむきな姿を全国に発信

2007年7月までの5年間、NHK沖縄局に勤務し、主にドキュメンタリー番組を制作。今も残る沖縄戦の傷跡を見つめる番組や、甲子園で旋風を起こした石垣島の八重山商工野球部の絆を描く番組など、幅広いジャンルの番組を全国に向けて発信してきました。8月からは、東京の渋谷にある本局で夜の国際ニュース番組を担当しています。ディレクターは取材から提案、撮影、そして編集して放送するまで一貫して番組制作に携わるやりがいのある仕事です。

### 社会により影響を与えられる存在に

市大時代、気持ちが若い“現場主義”の先生方に、本だけに学ぶのではなく現場を見る、現場で感じる肩を押され、実際に行動に移したことが今の私の原点です。事実で物事を語らなければ、伝えたいことは伝わらないことを身をもって経験し、その事実を積み上げるために徹底した取材を心がけています。これからも世の中で今、起きている事実をしっかりと見つめ、何を伝えるべきか、常に考え判断し、訴えていくことができる人間でありたいと思います。



コンピュータを使って編集作業



興味あるテーマの資料をスクラップ



2006年9月全国放送。熱血監督と球児たちの絆を描く



「終戦60年企画」として2005年6月全国放送。遺骨を掘り起こし供養する老夫婦を見つめる



2007年6月全国放送「クローズアップ現代“集団自決”62年目の証言」論争中の教科書検定問題に沖縄在住ならでの目線で切り込む



# 5つのプログラムによる 将来目標を重視した柔軟な履修方式

この5つのプログラムでは、学生一人ひとりのルートづくりを目的に、それぞれの中に幅広い知識や経験など、たくさんの引き出しをつくることによって、将来、多様な分野で活躍できる可能性を育てていきます。



## 5つの領域から 時代をとらえる

「国際政治・平和」、「公共政策・NPO」、「多文化共生」、「言語・コミュニケーション」、「国際ビジネス」と、いま、求められている国際的・地域的なさまざまな問題を解決する能力を養うための5つのプログラムを用意。学生各自がそれぞれに関心ある分野を深く究める、あるいは複数のプログラムにまたがって学びステップアップを図るなど、柔軟な履修方式が特徴です。

**1 年次**  
全学共通系科目  
総合科目・共通科目を中心に学習します。  
基礎演習  
小グループでの演習が1年次からスタートします。  
国際研究入門  
国際研究への興味関心、問題意識を喚起します。  
プログラム入門科目  
5つのプログラムの案内をします。

**2 年次**  
5つのプログラムを核とする  
専門科目スタート  
発展演習  
学ぶ力と解決する能力を育みます。

**3 年次**  
専門演習  
最も関心のある分野に絞り込んで密度の高い研究を行います。複数の専門演習(ゼミ)を選んで、多面的にテーマに接近することも可能です。  
専門科目  
それぞれの関心や将来設計に応じて、さまざまな専門科目が受講できます。

**4 年次**  
卒論演習  
卒業論文作成。また卒業後に向けて、温もりのあるサポートをします。教員1人に平均2人のゼミ生。  
卒業論文  
総合的かつ多面的に履修してきた一人ひとりが見出したテーマが、統一視点によって明らかになります。

## 複数のプログラムの履修が可能

プログラムは1つに限定せず、各自の関心や将来目標に応じて複数履修することが可能です。各プログラムの科目は、互いに関連しあっているため、複数のプログラムを組み合わせることで、理解の深まり、より高度な知識の修得が期待されます。また、より広く深く学ぶことによって、専門性プラスアルファの視点・考え方を身につけることができます。

## プログラム履修の認定

1プログラムにつき、最低36単位を修得することによって、プログラム履修の認定が与えられます。この領域認定は、就職時等において高評価につながるものと考えられます。



## 国際政治・平和プログラム

現代の国際社会には、紛争、テロ、難民、開発、環境などの様々な地球規模の課題があります。これらの問題を理解し、解決方法を見いだすための鍵となる国際関係の理論や歴史、そして平和研究の方法や実践について一緒に学びましょう。



## 公共政策・NPOプログラム

望ましい社会を創造するために、人びとの生活の基礎である経済や社会のあり方について学びましょう。私たち、市民、NPO(非営利組織)、政府などの果たす役割や協力し合う仕組みを考えましょう。社会のために働きたい方を歓迎します。



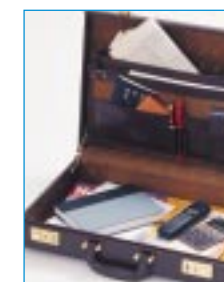
## 多文化共生プログラム

世界は新たな発見に満ちた知のフィールドです。国家・地域・民族・文化の垣根を乗り越え、多様な考えをもつ人々と「共に生きる」を合い言葉に、文化的対話の方法や可能性について理論と実践の両面から学びましょう。



## 言語・コミュニケーションプログラム

言語(日本語、外国語)を基本とするコミュニケーション上の諸問題(社会問題、外国語教育・政策、言語比較、異文化理解など)について学ぶと同時に、外国語の実践能力の養成を重点的に行います。外国語学習に関心のある方を歓迎します。



## 国際ビジネスプログラム

これまでの経営学や経済学の領域で捉えられてきた問題を、国内的・国際的な幅広い視野と、文化的・社会的・政治的環境との相互関係において捉え、問題発生予防にもつながる総合的な解決ができる問題解決型の学生を育みます。

## 教員一覧 (五十音順)

教授 青木 信之 Nobuyuki AOKI 副学長 英語教育学	准教授 池田 寛子 Hiroko IKEDA アイルランド文学	講師 猪口 純路 Junji INOGUCHI マーケティング論 流通システム論	教授 Ulrike WÖHR 日本学 女性学	教授 大東和武司 Takeshi OHTOWA 学部長 多国籍企業論	准教授 柿本 伸之 Nobuyuki KAKIGI 哲学	講師 城多 努 Tsutomu KITA 財務管理論	准教授 金 榮鎬 Yeongho KIM 現代朝鮮半島政治 比較政治学 国際政治学	教授 篠田知和基 Chiwaki SHINODA 比較神話学
教授 赤星 晋作 Shinsaku AKAHOSHI 教育経営学	准教授 板谷 大世 Taisei ITAYA 地域研究 (東南アジア)	教授 岩井 千秋 Chiaki IWAI 応用言語学	教授 大井 健二 Kenji OI 美術史学 芸術学	准教授 大野亜由未 Ayumi ONO 比較教育学	教授 加藤 千代 Chiyo KATO 中国民俗学 口承文芸研究	准教授 吉 沅洪 Yuanhong JI 臨床心理学	教授 佐藤 深雪 Miyuki SATO 日本文学	
准教授 池田慎太郎 Shintaro IKEDA 日本政治外交史	教授 井上 泰浩 Yasuhiro INOUE マスメディア学	教授 宇野 昌樹 Masaki UNO 語学センター長 中東研究	教授 太田 育子 Ikuko OTA 国際法	准教授 大庭千恵子 Chieko OBA 国際関係史 南東欧現代史	教授 上村直樹 Naoki KAMMURA アメリカ政治外交 国際政治学	准教授 金 泰旭 Taewook KIM 国際経営論	准教授 潮崎 智美 Tomomi SHOSAKI 国際会計学	

\*の教員は平成19年度末に退職の予定です。



# 5つのプログラムが互いに関連しあう、ユニークな 科目群

5つのプログラムは、それぞれ単独で展開されながらも相互に関連しあっており、プログラムの枠を越えて興味ある科目を履修することによって、多角的・複眼的視点で専門領域を捉え、学ぶことができます。

## 国際政治・平和プログラム

### 科目群

国際関係論/国際関係入門/国際法/国際社会学  
 国際安全保障論/国際政治学/民族国家論/開発政治論  
 平和研究入門/平和研究/国際人権法/紛争解決論/国際機構論  
 国際関係史/日本政治特論/東北アジア政治論/アメリカ政治論  
 ヨーロッパ国際政治特論/ロシア・東欧政治特論/東南アジア研究

### 比較政治体制論 (Omar FAROUK 教授)

さまざまな国の政治制度を比較することにより、国際政治、ひいては現在の世界が見えてきます。例えば民主主義の概念。国によって憲法の成り立ちも異なれば、とらえ方や権利の理解もまちまちです。それぞれの国の歴史、文化、政治などの背景を踏まえながら比較し、また日本における民主主義についても考察を深めグローバル化の本質に迫ります。



### 国際協力論 (吉田 晴彦 准教授)

国際協力とは、なぜ、何を、誰が行うものなのでしょうか。そこにどのような問題があるのでしょうか。それらについて、社会科学という視点から考えていきます。講義は、単なる知識を提供する場としてではなく、メーリングリストなどを利用して、議論を重ね、理解を深めることに重点を置いて進めていきます。



## 公共政策・NPOプログラム

### 科目群

国際経済学入門/ミクロ経済学/マクロ経済学/非営利組織論  
 経済統計学/財政学/金融論/現代社会と法/比較法制度/交通論  
 現代日本経済論/日本経済発展史/組織の経済学  
 スポーツ文化経営論/健康心理学/教育経営学/比較教育論  
 アメリカ教育論/政治と経済/地域政策論

### 開発と環境 (中島 正博 教授)

人間と自然が共生していくためには、私たちの世界観を問い直す必要があります。授業では、自然や人間の生命を大切にできる世界観を基に、人間と自然が共生する可能性や条件を考えます。また、今後の「開発と環境」のビジョンとして、市民の共同行為に焦点を当て、それが公共を支える可能性について論じます。



### 経済政策論 (高橋 広雅 准教授)

二人以上の人間が互いに影響を及ぼしながら行動する状況をゲーム的状况と呼びます。例えば学生と教員の関係、友人関係、相性のよくない人との接し方など。このゲーム的状况で人々はどのように行動し、その結果としてどんなことが起こるかについて体系的に学ぶとともに、どのような政策が望ましいかについて考えていきます。



## 多文化共生プログラム

### 科目群

多文化共生入門/地域研究入門/テキスト分析法/フィールドワーク技法  
 比較文化論/比較民族学/音楽人類学/労働と社会/異文化間交渉史  
 文化交流史/社会文化思想史/共生の哲学/マスメディア論  
 メディア・リテラシー/日本文化史/イギリス文化論/アメリカ文化論  
 中国文化論/日本研究/東アジア研究/アラブ研究/ラテンアメリカ研究  
 アフリカ研究/美術史/美学

### ジェンダー論 (Ulrike WÖHR 教授)

「男らしさ」「女らしさ」って何でしょう。この授業は、社会的・文化的につくられた「性差」について、これまでの自分の経験や歴史・映画・美術などを通じて意識することから始まります。男女それぞれの立場からも考え、「性差」を時代の流れや文化によって異なるものとしてとらえることによって、多様なものの見方を養っていきます。



### エスニシティ論 (宇野 昌樹 教授)

ますますグローバル化が進む現代において相互理解は不可欠であり、その起点となる「自分たちは何ものか」が強く問われています。自分のアイデンティティを追求することは、自己理解であり、他者理解への第一歩。そのために正しい歴史観を学び、自己を通して世界をとらえ、さまざまな角度からその情勢を考えていきましょう。



## 言語・コミュニケーションプログラム

### 科目群

言語・コミュニケーション研究入門/応用言語論/日本語学・日本語教育学  
 翻訳論/通訳技法論/コミュニケーション技法論  
 Communication on Global Issues/フランスの文学と文化  
 イギリスの文学と文化/英語学概論/英文法論/英米文学概論  
 英米文学特講/英文構成法/英語コミュニケーション/英語聴解法/時事英語

### 言語比較論 (柴 竹民 教授)

外国語の習得には母語（日本語）についての理解は不可欠です。日本語はどのような言語なのか、日本の社会・文化とどう関わっているのか…。中国から漢字が日本にどのように伝わり、変化し、日本語化してきたかを中国と日本の歴史などを関連させながら追究し、これから日本語がどのように発展していくかを考察していきます。



### 社会言語論 (Carol RINNERT 教授)

例えば日本語においても広島、博多、沖縄など地域によって、表現やイントネーションが異なります。アメリカ英語においても男女でニュアンスが違ってきます。ビデオ等で実際の違いを聞き比べながら、あるいは各地域の言葉をリサーチ・比較し、ディスカッションしながら私たちの言葉がどのように構築されているのか学んでいきます。



## 国際ビジネスプログラム

### 科目群

国際ビジネス入門/国際経営論/マーケティング論  
 経営史/財務管理論/簿記論/会計学/公会計論  
 国際会計論/経営組織論/企業行動論/国際貿易論  
 国際ビジネス法務/人的資源管理論/テクノロジーマネージメント

### 多国籍企業論 (大東和 武司 教授)

私たちが身近に接している多くの企業が今日では自国だけでなく、他の国に生産拠点をもち多国籍企業として活動しています。多国籍企業を取り巻いている文化、政治、経済環境などの影響を踏まえながら、外国に工場を設置するメリット、文化や習慣の違いへの対応、複数国での社会貢献など、単なる国内経営とは異なる経営を考えてみましょう。



### 国際金融論 (二村 英夫 教授)

経済の自由化、グローバル化が進み、巨額のマネーが国境を越え、ネットワークを通じて取り引きされています。また円とドル、円とユーロなど通貨同士の交換も活発です。こうした国際金融の仕組みや市場取引にはリスクが伴うこと、またリスクを回避するにはどんな方法があるかを具体例をあげながら一緒に考えていきます。



## 教員一覧 (五十音順)

准教授 鈴木 健人 Taketo SUZUKI 国際政治学 米国外交史 安全保障論	准教授 高橋 広雅 Hiromasa TAKAHASHI 経済政策論	教授 寺田 英子 Hideko TERADA 地方財政学 交通・公益事業論	教授 中島 正博 Masahiro NAKASHIMA 環境・資源管理論 国際開発論	教授 Omar FAROUK 比較政治学	准教授 山口 光明 Mitsuaki YAMAGUCHI 健康心理学 スポーツ方法論	教授 横山 知幸 Tomoyuki YOKOYAMA 翻訳論	教授 柴 竹民 Zhumin LUAN 日本語学	准教授 渡辺 智恵 Tomoe WATANABE 英語教育学
准教授 関村 誠 Makoto SEKIMURA 美学 哲学	准教授 田川 玄 Gen TAGAWA アフリカ研究 (人類学)	准教授 土井 悠子 Yuko DOI イギリス文学	准教授 野崎 亜紀子 Akiko NOZAKI 法哲学 生命倫理	教授 二村 英夫 Hideo FUTAMURA 国際金融論 金融論	教授 山本 雅 Masashi YAMAMOTO アメリカ文学	講師 吉江 貴文 Takafumi YOSHIE 文化人類学	教授 Carol RINNERT 言語学 社会言語学	
准教授 曾根 幹子 Mikiko SONE 体育経営管理学 生涯スポーツ論	教授 塚田 健一 Kenichi TSUKADA 民族音楽学 音楽人類学	教授 富永 憲生 Norio TOMINAGA 日本経済論 日本経済発展史	准教授 東野 篤子 Atsuko HIGASHINO 国際関係論 ヨーロッパ統合論	教授 Yulia MIKHAILOVA 日本思想史 日露関係史	准教授 湯浅 正恵 Masae YUASA 国際政治経済学	准教授 吉田 晴彦 Haruhiko YOSHIDA 国際関係論	教授 Christian LE DIMNA 現代フランス文化 異文化交流	

\*の教員は平成19年度末に退職の予定です。



# 英語力

## CALL英語集中

実践的なコミュニケーション能力を鍛える



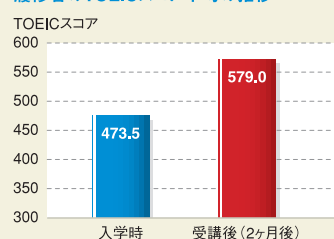
語学センターや情報処理センターのコンピュータを用い、英語のリスニング、リーディング、文法を集中的に訓練します。通常の授業のように教員が週1回授業をするといった形態を取らず、指定された期間中(約2ヶ月間)、自分の都合のよい時間に自分に合ったペースで学習を行います。学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを受験し、英語力及び学習効果を客観的に測定します。国際社会で活躍していくために必要不可欠な英語力を確実に高めていきます。



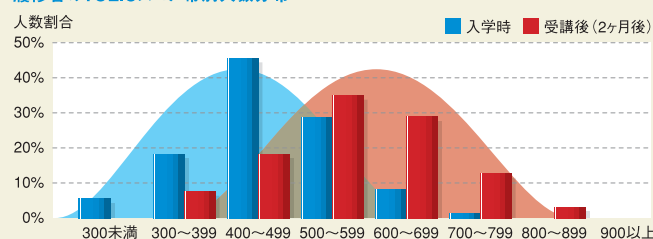
このプログラムは、広島市内の「まちづくり市民交流プラザ」で市民にも開放されており、これまでに延べ約900名が受講。TOEICへの挑戦をはじめ、生涯学習の場として活用されています。

### 効率的な学習でTOEICスコアアップ!

履修者のTOEICスコア平均の推移



履修者のTOEICスコア帯別人数分布



左のグラフは、「CALL英語集中」履修者のTOEICスコア平均の推移とスコア帯別人数の分布を示したものです。入学時に比べ、受講後のスコアは105.5点アップし、579.0点に伸びています。スコア帯別人数分布についても、受講後は分布がスコアの高い方に移動しており、英語力が大きく底上げされていることがわかります。TOEIC運営委員会発行の「TOEIC テストDATA & ANALYSIS 2004」によると、全国の大学1年生のTOEICスコア平均は387点ですが、国際学部1年生のTOEICスコアは、入学時点ですでに大学1年生の平均を大幅に上回っています。また、全国の大学4年生の平均スコアは492点、企業が新入社員に期待するスコアは400~500点とされていますが、国際学部1年生は前期終了の時点でこれらのスコアを大きく上回る学習成果をあげています。

### 英語教育がさらに進化

#### 徹底した訓練の「CALL英語集中」と能力別少人数の「英語応用演習」

1・2年生対象の英語教育が平成19年度4月より大きく変わりました。ネットワークを利用した「CALL英語集中」で、リーディングとリスニングを中心とした英語の訓練を毎日受けるとともに、1クラス平均15名という、大学共通教育としては異例の少人数クラス「英語応用演習」で、徹底したスピーキングとライティングの指導を受けます。また「英語応用演習」では、クラスを能力別とし、それぞれのレベルに適したシラバスとテキストできめ細かい指導が行われます。

# 多言語力

国際学部では、英語以外に8ヶ国語にもおよび外国語科目を設けています。これは、世界を多角的にとらえ、文化の多様性と共生の必要性を認識した国際人の養成を目的にしているからです。1・2年生における外国語学習だけでなく、3・4年生においても深い地域研究と外国語学習の継続の道が開かれています。

#### 豊富な外国語科目とネイティブ教員による授業

ドイツ語	フランス語	中国語
ハンガール	ロシア語	アラビア語
スペイン語	イタリア語*	日本語**

\*国際学部では卒業単位には含まれない。 \*\*主に留学生を対象とする。

### グローバルな視野を養い可能性を広げる



# 国際力

## Intensive Summer Course HIROSHIMA and PEACE

世界の学生と英語で広島を学び、平和を考える

2003年から始まった夏期集中講座HIROSHIMA and PEACEは、世界中の学生が一堂に集い、知的な「楽しさ」を感じながら自分たちで学ぶPeace Studies(平和研究)です。どうすれば平和を実現できるのか、核兵器の問題点は何か、世界で起きている問題の解決について、幅広い視点から学びディスカッションすることによって、さまざまな国の人の考え方を共有し、また新たな考え方を発信していくことを目的としています。UNITAR国連訓練調査研究所の広島事務所見学会や8月6日の平和記念式典への参加など、広島ならではの体験学習も多彩に用意され、2006年は、アメリカ、イギリス、インドネシア、ベトナムなど13ヶ国23人の外国人学生が参加しました。ハワイ大学とロンドン・メトロポリタン大学では正式な授業として単位が認められています。海外の学生とともに2週間近くすべての授業を英語で受講し語り合い、パーティーなどの楽しい時を過ごすことは、国際交流を体験する貴重な機会となるでしょう。



詳しいプログラム内容などはホームページをご覧ください。 <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/Hiroshima-and-Peace/index.htm>



### Preliminary English Training(PET)Program



#### H&P本番に向けた英語討論能力の強化

HIROSHIMA and PEACEの国際学部受講生は、H&P本番前に約3ヶ月間の事前英語研修(PET)プログラムを受講。チームティーチングによる徹底した指導で、英語の討論能力、表現力、それに広島や原爆、平和問題について英語で発信できる能力を高めます。H18・19年度はPET期間中に1泊2日の英語漬け研修(English Only Village)を実施(写真左)、「ひろしま」紹介ビデオの作成、討論会、英語によるレクリエーションなどを行いました。PETプログラムの「共通語」は英語のみ、短期間の集中研修ながら参加者のH&P参加意欲と連帯意識を高め、本番に向けて確実なスキルアップにつながっています。



国際学部  
在学生!

# 新しい発見、感動、出会いを求めて自ら考え、自ら動く!

## ひろしまヤングベンチャー賞銀賞!

金 泰旭ゼミ 「経営学全般に関する理論および実践研究」

戸井田育子 Ikuo TOIDA | 山口 英美 Hidemi YAMAGUCHI  
松尾 沙織 Saori MATSUO | 山根 佳恵 Yoshie YAMANE



実際にベンチャー企業を立ち上げるとしたら、このようなビジネスコンセプトを進めたいという模擬創業の企画立案をする「ひろしまヤングベンチャー賞」に参加。広島地域の活性化を目的に、塾と家庭教師を融合した新形態教育ビジネスを提案しました。プラン名は「格差社会の連鎖を断つ訪問型塾ビジネス」。塾と家庭教師のそれぞれのメリットである低価格、細やかな指導、近場で学べる安心感を融合した教育環境の提供を通して、開きはじめた学力格差に対応、基礎学力の底上げを図っていくというもの。潜在的に大きな市場が存在し、成長の可能性があるとして評価され銀賞を受賞! がんばったかいがありました。起業のおもしろさ、厳しさを体感できたことも収穫です。



## 海外スタディツアー「フィリピン・サンタフェ植林調査」

中島 正博ゼミ 「国際開発と環境」

伊藤 絵里 Eri ITO | 上野 恵太 Keita UENO | 浦脇みどり Midori URAWAKI  
小倉 典子 Noriko OGIURA | 川口ゆかり Yukari KAWAGUCHI | 永里 真弓 Mayumi NAGASATO  
和田 覚 Satoru WADA | 達川 真路 Masanichi TATSUKAWA | 松浦 寛行 Hiroaki MATSUURA

発展途上国の持続可能な発展・貧困緩和の方途を探るために、国際開発、環境・資源管理の現状を学び、地域の発展と住民の生活向上に資する開発・環境保全の課題について考えます。平成18年度の夏休期中には、フィリピンで実習的な調査を行いました。フィリピンは森林の乱伐によりエネルギー資源渾濁や土砂崩れ災害の問題が深刻です。その現状をフィリピン・サンタフェ町で調査し、現地で植林活動にも従事しました。帰国後、学生は自主的に活動を展開。フィリピンの現状を新聞と国際会議場で市民に、また大学祭では展示により学生に報告し、模擬店の収益金はフィリピン・サンタフェ町のNGOに寄付しました。さらに広島RCCラジオの番組でフィリピンの現状や学生の活動について紹介するなど、貴重な学びをさらに深めています。



フィリピン・サンタフェ植林活動にも参加



## 日韓交流スピーチ大会優勝! 2006.12.3 ~一人対一人の人間として~

宇江みなみ

Minami UE



韓国企業のめざましい躍進と国際ビジネスへの関心から韓国で1年間、交換留学生として学びました。韓国の大学では、韓国学生とともに企業のケーススタディおよびプレゼンテーションを行うなど経営学を中心に学び、韓国と日本の視点やパワーの違いを実感。また、学内外において韓国の方々大変よくしてもらい、充実した日々を送ることができました。日韓交流スピーチ大会では、留学生活で強く感じた国籍や民族などの枠にとらわれず、一人の人間としてつきあっていくことの大切さをテーマにスピーチ。私の人生観を変えるほどの貴重な体験の成果のひとつとして評価されたことは大変うれしく、大きな自信になっています。



## ピースキッズ・ワールド・サッカー・フェスティバルにボランティアとして参加!

吉本 愛

Megumi YOSHIMOTO



国際交流サークルの活動のひとつとして、ピースキッズ・ワールド・サッカー・フェスティバルにボランティアとして参加しました。この大会は、紛争の絶えないイスラエルとパレスチナの平和を願ってアメリカやイギリス、イスラエル、パレスチナ、沖縄、広島など世界10地域の子どもたち150人が集まり、平和都市広島でサッカーと共同生活を楽しむというものです。大会の運営や子どもたちの世話は想像以上にハードでしたが、子どもたちの笑顔が私を救ってくれました。誰かのために一生懸命努力すれば、笑顔が返ってくることを教えてくれました。大会以降、小さなことにも感動するようになり、また専攻のアイルランド文化だけでなく、世界情勢や宗教、言語などさまざまな分野に興味をもつようになりました。今は新しいことを学ぶのが楽しくてしかたありません。



## NHK大学生ビデオゼミナール準優勝!

井上 泰浩ゼミ 「メディアの研究とコンテンツ発信」

ゼミ生代表  
上熊ちはる Chiharu UEKUMA  
ゼミメンバー  
池野内真弥 Maya IKENOUCHI  
竹本 更織 Shiori TAKEMOTO  
光友 紫乃 Shino MITSUTOMO  
横尾 令奈 Reina YOKOO



ディレクターを務めた上熊さん



ゼミではテレビや新聞、インターネットなどメディアの社会的、政治的な影響について研究するだけでなく、コンテンツの発信にも取り組んでいます。その一環としてビデオゼミナールに参加、広島に生きる外国人コミュニティの活動を追うドキュメンタリー制作に挑戦しました。4ヶ月間、外国人の生活に密着し、その暮らしや広島に対する思いなどを人間目線で撮れるホームビデオで撮影。インタビューも英語で行い、「人間そのもの」を伝えることに努めました。多くの人に見てもらおうことを意識した作品をみんなで力をあわせて創りあげた感動は言葉では言い表せません。見た人の反応がさまざまであったことも興味深く、広く発信することのおもしろさ、手ごたえとともに、責任の重さも学びました。



受賞記念パーティー

## サントリー商品開発選手権 決勝大会進出!

猪口 純路ゼミ 「マーケティング・流通システム研究」

木下 佳子 Yoshiko KINOSHITA | 宮西 真輝 Maki MIYANISHI | 日下 志保 Shiho KUSAKA  
賀村 幸子 Sachiko KAMURA | 石井 貴人 Takato ISHII | 金崎 優美 Yumi KANESAKI  
上谷 祐子 Yuko UETANI



ゼミでは実際の生活でも活かせる知識、行動力、物事の方法をマーケティング論を通して身につけていきます。その成果を試すべくサントリー主催の商品開発選手権に参加。「自分たちが何年たっても好きで、飲みつづけていたいお酒」をテーマに、味わい多彩なお酒を提案しました。プレゼンテーションにも工夫を凝らし、参加チーム300以上の中から予選を勝ち抜き、みごと決勝大会に進出! 惜しくも優勝は逃しましたが、開発現場の熱意や知識を吸収でき、また視野も広がった貴重な体験でした。





# 情報科学部

<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/org/info/index.html>

情報科学の基礎をバネに  
学びを究める、可能性を拓く。



あらゆる領域で  
先端的なIT環境を道具として  
活用できる能力を養成

情報科学部は、教育・研究内容および育てる人物像をより明確にするために、2007年度から学部構成を3学科6コースに再編し、新たなスタートを切りました。さらに情報科学の知識と技術を自然科学と融合させることによって新しい可能性を拓いていくために学部総合科目を導入。情報技術（IT）の専門的な知識をベースにIT環境を道具として活用し、より学際的に活躍できる人材の育成をめざしています。また、民間企業出身の教授陣が多いのも情報科学部の特徴のひとつです。企業での経験を踏まえ、柔軟な発想と豊かな創造力をもって指導に当たるとともに、学生が就職後にそれぞれの企業目的に添って仕事ができるように研究テーマも工夫。社会の多様なニーズに、情報技術のめまぐるしい進歩に、しなやかに対応できる能力の修得に努めています。

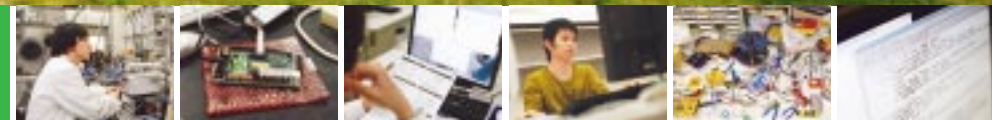
情報科学部長 堀居 賢樹 Kenju HORII



情報技術は、企業活動、福祉医療、教育・文化、放送・通信など、あらゆる分野の活動を支える重要な技術で、豊かな社会生活をおくる上で不可欠な技術です。人やモノが情報技術を通じてつながる、便利で安全な社会の実現のため、情報科学・技術の重要性は高まるばかりです。情報科学はハードウェア、ソフトウェア、情報ネットワーク、人工知能、情報システムなどの広い分野を含んでいますが、情報科学部ではそのような情報科学の基礎から応用までの広い領域の教育研究を行っています。皆さんの入学を待っています。

## めざすは高度情報化社会をリードする先端技術者・研究者

情報メディア工学科 4年 上野 名津美・今野 裕貴、情報機械システム工学科 4年 片山 悠美 (写真左から)



### Information Sciences

#### 時代の変化に対応する3学科6コース 入学後、進路を決める学部一括入試

情報科学部では、学部一括入試を行っており、全学生は2年次前期まで学部共通科目を通して情報科学の基礎を学びながら、自分の進路を探ります。その後、各自の希望や適性をもとに3学科に分かれ、6コースのカリキュラムからさらに専門知識や技能を学んでいきます。

#### 求める人物像 Admission Policy

情報科学は進歩のスピードが大変速く、世界的な競争も激しい分野です。したがってこの分野に携わる人は、たゆまぬ向上心をもって新しい考えを追究し続けることが必要です。情報科学部は、この分野で自分の適性を見つけ、十分な学力や技術力を身に付けて、科学技術の進歩に貢献することを目指す気概のある学生を求めています。具体的には次の条件を満たす学生を募集しています。

- 1 自分から進んで問題を発掘し解決する意欲を持つ学生
- 2 情報科学の基礎である数学・理科・語学が得意な学生
- 3 知的好奇心に富み、探究心があふれる学生

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
■学部総合科目	情報物性工学Ⅰ・Ⅱ、生体センサ工学、電子光デバイス、電気磁気学、光エレクトロニクス、電気・電子材料、集積回路、機能性材料 など							
■学部共通科目	<b>情報工学科</b> コンピュータコース コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、システムLSIなどを学びます。 ネットワークコース インターネット、モバイル通信、ユビキタス情報ネットワークなどを学びます。 <b>知能工学科</b> 知能ソフトウェアコース 人工知能、データマイニング、ヒューマンインタフェースなどを学びます。 知能メディアコース パターン認識、画像処理、コンピュータグラフィックスなどを学びます。 <b>システム工学科</b> 制御・メカトロニクスコース 最適制御、メカトロニクス、ロボティクスなどを学びます。 通信・インタフェースコース デジタル通信、組み込みソフトウェア、システムインタフェースなどを学びます。							
■全学共通系科目・外国語系科目・資格取得科目								

進路については P.51

#### 取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(情報)(数学)
- 博物館、美術館などの学芸員



# 情報工学科

コンピュータコース/ネットワークコース

市大 **POWER OF HIROSHIMA CITY UNIVERSITY**

次世代を見据えた情報環境の創造をソフト&ハードの両側面から追究



情報工学科では、コンピュータとネットワークに関するハードウェア技術およびソフトウェア技術を広範囲に教育・研究します。これらの技術をベースに、コンピュータとネットワークの融合技術、情報環境に対応できる人材の育成を進めます。

各モバイル端末が端末そのものの機能だけでなくデータ中継機能の役割も果たし、無線だけでネットワークを構成するアドホックネットワーク。ネットワークソフトウェア研究室では、この情報技術を活用した子どもの見守りシステムを自治体・通信事業者・電力会社等と共同で開発し、実用化に向けた実験を進めています。

## コンピュータコース

コンピュータのハードウェア、ソフトウェアなどに関する基礎的な知識を学び、システムソフトウェア、システムLSI、組み込みシステムなどの高度情報社会を支える情報システム、および新しいコンピューティング環境に対応できる人材を育成します。

### PICK UP 情報工学実験 I・II

ハードウェア記述言語を用いた設計



### 複雑な論理回路もスマートに設計

コンピュータコースの実験には、専用の言語を用いてハードウェアを設計する課題があります。昔は、論理素子間の接続関係を一ずつ記述して論理回路の設計をしていました。現在では、動作させたい機能を人間に分かりやすい言語で記述することで、設計できるようになりました。このようなシステムを実際に使用し、設計した回路を簡単に実装できるFPGAという素子を用いて、論理回路を設計する実験を行っています。

### PICK UP コンピュータデザイン研究室



### 安心して使えるコンピュータを設計

コンピュータのおかげで便利になった世の中。それだけにコンピュータが間違ったり動かなくなると社会生活に支障がでます。研究室では、誤動作や障害を未然に防ぎ、安全で安心して使える、すなわち頼りになるコンピュータとその作り方について研究しています。

マレーシアでの国際会議で研究発表

## ネットワークコース

インターネット、モバイル通信、デジタル放送などに関する基礎的な知識を学び、いつでもどこでも利用可能なユビキタスネットワークなどの情報ネットワーク、および次世代のメディア協調型情報ネットワーク社会に対応できる人材を育成します。

### PICK UP 情報工学実験 I・II

IP技術の基礎



### 情報通信技術の高度化をめざす

最近、ICT(情報通信技術)革命という言葉をよく耳にします。この実験では、ICTを支えている中心技術の一つであるIP(Internet Protocol)技術の基礎を学びます。具体的には、PC UNIXの導入、IPパケットの観測、DNS(Domain Name System)の設定、ネットワークセキュリティ確保の基礎、静的および動的ルーティング、WWWサーバーの設定などを行います。

### PICK UP ネットワークソフトウェア研究室



### ユビキタスネットワークで子どもの安全を守る

来るべきユビキタスネットワーク社会においては、モバイル端末の総数が多くても移動が速くても、端末間で情報を効率的にかつ確実に伝える技術が重要です。研究室では、このような技術を開拓し、アドホックネットワーク、センサネットワークなどのユビキタスネットワークのソフトウェアに関する研究を進め、身近な問題解決に役立てるために子どもの見守りシステムに応用しています。

## CURRICULUM

前期	1年次		前期	2年次		前期	3年次		前期	4年次	
	前期	後期		前期	後期		前期	後期		前期	後期
学部総合科目 ※P31											
学部共通 ※P23											
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク設計 I</li> <li>ネットワーク設計 I 演習</li> <li>コンピュータシステム I</li> <li>論理設計</li> <li>論理設計演習</li> <li>デジタル信号処理</li> <li>電気回路応用</li> <li>情報ネットワーク</li> <li>通信方式</li> <li>プログラミング言語</li> <li>コンパイラ</li> <li>データベース</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク設計 II</li> <li>ネットワーク設計 II 演習</li> <li>コンピュータシステム II</li> <li>LSI設計演習 I</li> <li>ワイヤレスネットワーク I</li> <li>情報理論</li> <li>オペレーティングシステム</li> <li>ネットワークプロトコル</li> <li>情報と職業</li> <li>数値計算プログラミング</li> <li>電子回路</li> <li>最適化アルゴリズム</li> <li>分散システム</li> <li>外書講読演習 I</li> <li>情報工学実験 I</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>アーキテクチャ</li> <li>ソフトウェア工学</li> <li>マルチメディア通信</li> <li>LSI設計演習 II</li> <li>ワイヤレスネットワーク II</li> <li>並列コンピュータ</li> <li>システムLSI設計</li> <li>CADシステム</li> <li>ネットワークソフトウェア演習</li> <li>プロトコル設計</li> <li>信号設計論</li> <li>外書講読演習 II</li> <li>情報工学実験 II</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信法規</li> <li>知的財産権</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーション技法</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ</li> <li>技術文書作成法</li> <li>卒業研究 I・II</li> </ul>											
全学共通プログラム・外国語系科目 ※P10											

## 教員一覧

教授	石田 賢治 Kenji ISHIDA	情報ネットワーク
教授	井上 智生 Tomoo INOUE	ディペンダブル コンピューティング
教授	角田 良明 Yoshiaki KAKUDA	ネットワークソフトウェア
教授	北村 俊明 Toshiaki KITAMURA	情報処理センター長 プロセッサアーキテクチャ
教授	前田 香織 Kaori MAEDA	コンピュータ・ネットワーク
教授	弘中 哲夫 Tetsuo HIRONAKA	計算機アーキテクチャ
教授	吉田 彰顕 Teruaki YOSHIDA	情報通信 電波サイエンス
教授	若林 真一 Shinichi WAKABAYASHI	論理回路 論理システム設計
准教授	市原 英行 Hideyuki ICHIHARA	VLSI設計自動化
准教授	高橋 賢 Satoshi TAKAHASHI	無線通信 ネットワークシステム
准教授	高橋 隆一 Ryuichi TAKAHASHI	論理設計方法論 学習デザイン
准教授	西 正博 Masahiro NISHI	通信工学 電波サイエンス
准教授	Rolf ADAMS	プログラミング言語
講師	上土井陽子 Yoko KAMIDOI	論理回路学
講師	川端 英之 Hideyuki KAWABATA	システムソフトウェア
講師	舟坂 淳一 Junichi FUNASAKA	ネットワークソフトウェア
助教	井上 伸二 Shinji INOUE	ネットワークソフトウェア
助教	大田 知行 Tomoyuki OTA	ネットワークソフトウェア
助教	小畑 博晴 Hiroyasu OBATA	通信プロトコル 衛星通信
助教	窪田 昌史 Atsushi KUBOTA	システムソフトウェア
助教	河野 英太郎 Eitaro KONO	情報ネットワーク
助教	児島 彰 Akira KOJIMA	システムソフトウェア
助教	高橋 茂 Shigeru TAKAHASHI	電波サイエンス 情報工学
助教	谷川 一哉 Kazuya TANIGAWA	計算機アーキテクチャ
助教	永山 忍 Shinobu NAGAYAMA	論理設計
助教	吉川 祐樹 Yuki YOSHIKAWA	論理設計とテスト



# 知能工学科

知能ソフトウェアコース／知能メディアコース

市大 **POWER OF HIROSHIMA CITY UNIVERSITY** 人間の知的なコミュニケーション&情報行動を支援するシステムを構築



知能工学科では知識基盤社会における人間の知的なコミュニケーション行動や情報行動を支援する高度な知能情報システムの技術者および研究者を育成するために、知能ソフトウェアコースと知能メディアコースの2コースを設置しています。また、両コースに共通な教育として、コンピュータグラフィックス、データベース、デジタル信号処理、感性情報処理、最適化理論、情報理論、計算幾何学、数理論理学、グラフ理論概論、確率統計などが開設されています。

知識工学研究室ではバーチャルリアリティの技術を用いた先進的学習支援システムを研究。装置（反力デバイス）を通して実際の力を感じながら、てこや滑車の題材などを用いて初等力学の学習を行うことができ、より現実世界の実験室に近い状態で学ぶことができます。

## CURRICULUM

前期	1年次		前期	2年次		前期	3年次		前期	4年次	
	前期	後期		前期	後期		前期	後期		前期	後期
学部総合科目 ※P31											
学部共通 ※P23											
		<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータグラフィックスⅠ</li> <li>グラフ理論概論</li> <li>数理計画法</li> <li>計算幾何学</li> <li>計算論</li> <li>数理論理学</li> <li>情報ネットワーク</li> <li>オペレーティングシステム</li> <li>データベース</li> <li>デジタル信号処理</li> <li>数値解析</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータグラフィックスⅡ</li> <li>情報システム</li> <li>コンパイラ</li> <li>情報セキュリティ</li> <li>情報理論</li> <li>記号処理プログラミング</li> <li>アルゴリズム論</li> <li>情報と職業</li> <li>人工知能</li> <li>ヒューマンコンピュータインタラクション</li> <li>画像情報処理</li> <li>知能工学実験Ⅰ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>最適化理論</li> <li>感性情報処理</li> <li>デジタル制御</li> <li>技術英語Ⅰ</li> <li>データマイニング</li> <li>機械学習</li> <li>情報検索</li> <li>パターン認識</li> <li>自然言語処理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信法規</li> <li>知的財産権</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーション技法</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ</li> <li>技術英語Ⅱ</li> <li>技術文書作成法</li> <li>卒業研究Ⅰ・Ⅱ</li> </ul>											
全学共通プログラム・外国語系科目 ※P10											

## 知能ソフトウェアコース

知識情報処理に必要な人工知能、データマイニング、機械学習、ヒューマンコンピュータインタラクション、知的情報検索エンジン、エージェント、発見的探索などを学び、知識基盤社会に重要な知能情報システムを開発できる人材を育成します。

### PICK UP 知能工学実験Ⅰ・Ⅱ

AI・ネットワーク実験



### 直感力や知恵を働かせ問題解決力を柔軟に

オセロ対戦プログラムを開発するために、人工知能(AI)の基礎技術を活かしてオセロゲームの思考部である推論プログラムを作成します。また、ネットワーク上で対戦できるよう、インターネットのハードウェアについて学ぶとともに、ネットワーク通信のプログラム作成を行っています。

### PICK UP 知識工学研究室



### 人間の学習をサポートする知的なコンピュータ

装置（反力デバイス）を通して実際の重さや反発力を感じ、より現実世界に近い状態の学習を可能にするバーチャルリアリティの技術を用いた先進的学習支援システム。こうしたヒトの知識の獲得メカニズム、すなわち学習を工学的にサポートする研究に取り組んでいます。

## 知能メディアコース

画像、映像、幾何データ、音声、文書などのメディア情報処理に必要な画像情報処理、コンピュータグラフィックス、パターン認識、自然言語処理などを学び、知識基盤社会に重要なメディア情報処理システムを開発できる人材を育成します。

### PICK UP 知能工学実験Ⅰ・Ⅱ

CG・コンパイラ実験



### 想像力や知識を働かせ表現力豊かに美しく

オセロゲームの盤面データをコンピュータグラフィックス技術(CG)により個性豊かに美しく表現します。知能工学実験Ⅰで開発した推論、通信プログラムと統合して、オセロ大会でプログラム同士を対戦させます。また、プログラミング言語の変換をするプログラム(コンパイラ)の作成も行っています。

### PICK UP 画像メディア工学研究室



### 人間と協調し共存するメディアコンピュータ

コンピュータの「目」の実現をめざすコンピュータビジョンと、さまざまな情報を映像として効果的に表現するコンピュータグラフィックスを中心に研究。3次元CGやビデオ映像の知的編集など、画像情報を対象に基礎から応用まで幅広いテーマで画像メディアコンピュータの研究開発を行っています。

## 教員一覧

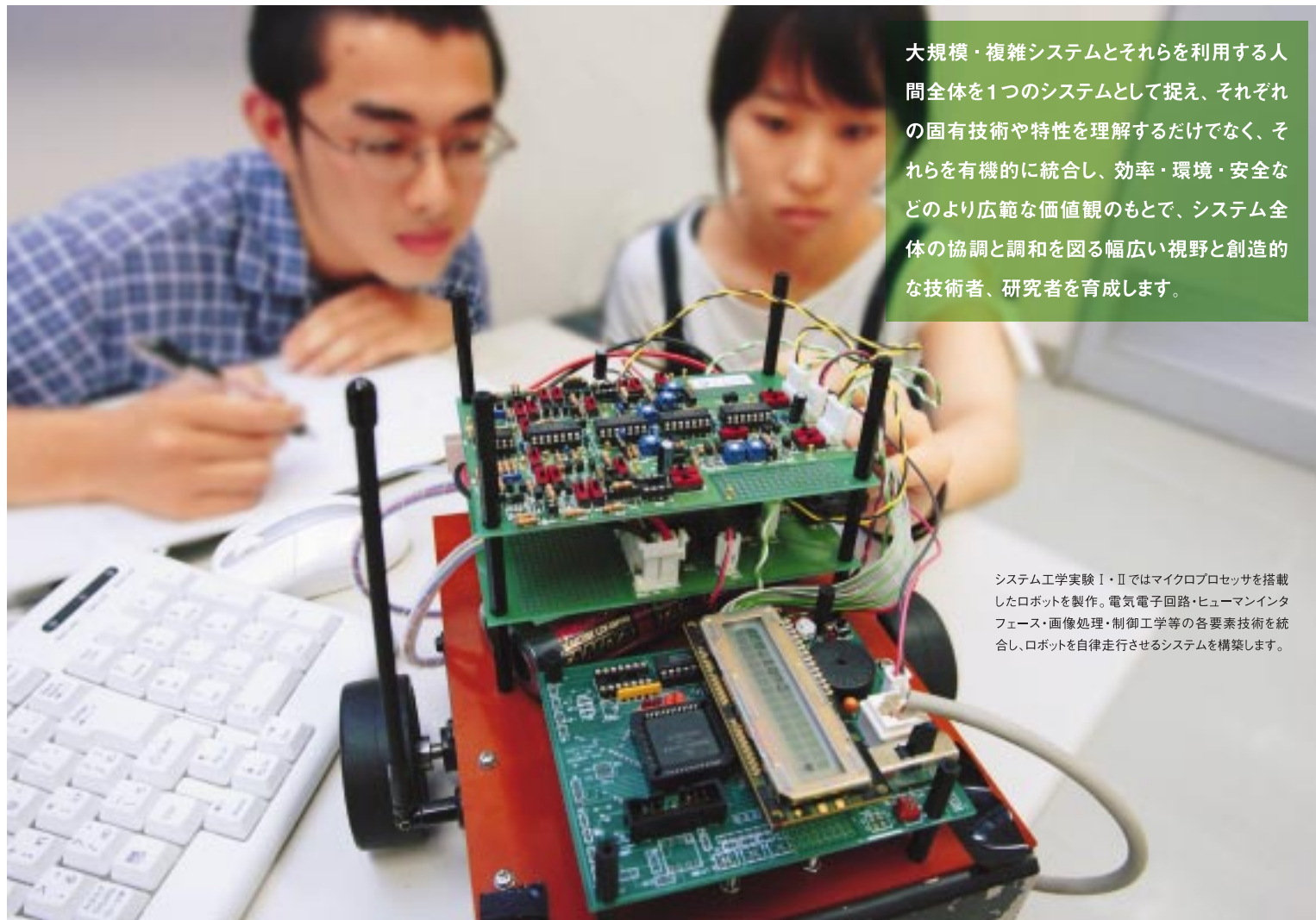
教授	浅田 尚紀 Naoki ASADA	学長 コンピュータビジョン
教授	北上 始 Hajime KITAKAMI	AIとデータ工学
教授	高橋 健一 Kenichi TAKAHASHI	機械学習
教授	高濱 徹行 Tetsuyuki TAKAHAMA	自然言語処理
教授	林 朗 Akira HAYASHI	パターン認識
教授	松原 行宏 Yukihiko MATSUBARA	知識工学
准教授	岩根 典之 Noriyuki IWANE	知識工学
准教授	内田 智之 Tomoyuki UCHIDA	データマイニング 機械学習
准教授	黒木 進 Susumu KUROKI	空間データベース
准教授	末松 伸朗 Nobuo SUEMATSU	パターン認識 機械学習
准教授	三村 和史 Kazushige MIMURA	数理工学
准教授	宮原 哲浩 Tetsuhiro MIYAHARA	機械学習 データマイニング
准教授	椋木 雅之 Masayuki MUKUNOKI	メディア情報処理
講師	青山 正人 Masahito AOYAMA	医用画像診断支援 文書理解
講師	市村 匠 Takumi ICHIMURA	ソフトコンピューティング
講師	上田 祐彰 Hiroaki UEDA	機械学習
講師	馬場 雅志 Masashi BABA	コンピュータグラフィックス
講師	難波 英嗣 Hidetugu NANBA	自然言語処理
講師	原 章 Akira HARA	進化的計算論
講師	古川 亮 Ryo FURUKAWA	コンピュータビジョン CG
助教	岩田 一貴 Kazunori IWATA	数理工学
助教	岡本 勝 Masaru OKAMOTO	知識工学 学習システム
助教	黒澤 義明 Yoshiaki KUROSAWA	発話意図理解
助教	鈴木 祐介 Yusuke SUZUKI	データマイニング 機械学習
助教	田村 慶一 Keiichi TAMURA	データベース並列処理
助教	目良 和也 Kazuya MERA	感知情報処理 対話理解
助教	森 康真 Yasuma MORI	データ工学



# システム工学科

制御・メカトロニクスコース / 通信・インタフェースコース

市大 **POWER OF HIROSHIMA CITY UNIVERSITY** 人間・コンピュータ・情報システムの調和を図りユビキタス社会を実現



大規模・複雑システムとそれらを利用する人間全体を1つのシステムとして捉え、それぞれの固有技術や特性を理解するだけでなく、それらを有機的に統合し、効率・環境・安全などのより広範な価値観のもとで、システム全体の協調と調和を図る幅広い視野と創造的な技術者、研究者を育成します。

システム工学実験Ⅰ・Ⅱではマイクロプロセッサを搭載したロボットを製作。電気電子回路・ヒューマンインタフェース・画像処理・制御工学等の各要素技術を統合し、ロボットを自律走行させるシステムを構築します。

## 制御・メカトロニクスコース

デジタル家電や生産工場での制御機器、各種ロボット、福祉機器などが、より使いやすく高度な機能を発揮させるためのシステム化技術を学び、人類が快適で理想的な社会を作るための、人にやさしいシステムを開発する幅広い視野をもった人材を育成します。

**PICK UP** システム工学実験Ⅰ・Ⅱ  
ハードウェア



### 遠隔操作型ロボットを製作

3年次前期のシステム工学実験Ⅰでは、マイクロプロセッサを搭載した遠隔操作型ロボットの製作を通して電子制御やセンシング技術を学びます。実験の終わりには生体センシングにより身体とロボットの動きを連動させ、遠隔操作により複雑なコース上をロボットに走行させるタイムトライアル競技で実験の成果を披露します。

**PICK UP** 知的制御システム研究室



### 患者にとって安全かつ快適な搬送方法は？

患者を仰向けの状態で安全かつ迅速に搬送するための対策を検討し、搭乗者の負担を軽減する技術を研究。搬送中に起こる車両の速度変化と搭乗者の血圧変動との関係を解析し、血圧変動を小さく抑える運転パターンの割り出しを可能にする高精度な数理モデルの構築をめざしています。

## 通信・インタフェースコース

ネットワークで結合された大規模で複雑なシステムが、互いに協調して動作するためのデジタル通信、高信頼化、組込みソフトウェア開発などのシステム化技術を学び、ユビキタス社会を実現させることのできる幅広い視野をもった人材を育成します。

**PICK UP** システム工学実験Ⅰ・Ⅱ  
ソフトウェア



### 自律走行型ロボットに挑戦

3年次後期のシステム工学実験Ⅱでは実験Ⅰで製作した遠隔操作型ロボットを自律走行型ロボットに発展させます。この実験では画像処理や現代制御技術などを学びます。1年間の締めくくりはロボットにストライカーやゴールキーパーの機能を与え、ロボット・サッカー・コンテストを行います。優秀なプレイヤーに立って上げられるかは皆さんの工夫次第です。

**PICK UP** システムインタフェース研究室



### 人間の創造力を高める道具としてコンピュータを有効活用

二次元のディスプレイ上に似ているレポート同士を線でつないで近くに配置し視覚化することで、仲の良い学生の集合を発見したり、独創的な意見を述べているレポートを発見するシステムを製作。インターネット上の情報発見と活用にも役立っています。

## 教員一覧

教授	伊藤 史朗 Shiroh ITO	代数学
教授	岩城 敏 Satoshi IWAKI	ロボティクス
教授	大場 充 Mitsuru OBA	社会連携センター長 ソフトウェア工学
教授	小林 康秀 Yasuhide KOBAYASHI	システム制御工学
教授	佐藤 学 Manabu SATO	数理統計学
教授	佐野 学 Manabu SANNO	副学長 システム工学・制御工学
教授	中田 明夫 Akio NAKATA	組み込みシステム
教授	生岩 量久 Kazuhiro HAEIWA	デジタル放送
准教授	石光 俊介 Syunsuke ISHIMITSU	音響信号処理
准教授	小崎 貴弘 Takahiro KOSAKI	制御工学
准教授	島 和之 Kazuyuki SHIMA	ソフトウェア工学
准教授	砂山 渡 Wataru SUNAYAMA	ウェブマイニング
准教授	関根 光弘 Mitsuhiro SEKINE	トポロジー
准教授	田中 輝雄 Teruo TANAKA	確率過程
准教授	藤坂 尚登 Hisato FUJISAKA	非線形回路
講師	小野 貴彦 Takahiko ONO	制御工学 人間工学
講師	廣門 正行 Masayuki HIROKADO	代数幾何学
助教	厚海 慶太 Keita ATSUMI	計測制御工学
助教	安 昌俊 Masatoshi AN	通信システム
助教	神尾 武司 Takeshi KAMIO	計算機工学
助教	川本 佳代 Kayo KAWAMOTO	教育学
助教	小作 敏晴 Toshiharu KOSAKU	機械工学
助教	齊藤 充行 Mitsuyuki SAITO	最適制御工学
助教	齊藤 夏雄 Natsuo SAITO	代数幾何学
助教	佐藤 康臣 Yasumi SATO	ソフトウェア工学
助教	高井 博之 Hiroyuki TAKAI	メカトロニクス インタフェース
助教	高橋 雄三 Yuzo TAKAHASHI	人間工学
助教	疋田 真一 Shinichi HIKITA	制御工学 人間工学

## CURRICULUM

学部総合科目 ※P31	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学部共通 ※P23			<ul style="list-style-type: none"> <li>電子回路Ⅰ</li> <li>コンピュータグラフィックスⅠ</li> <li>メカトロニクスⅠ</li> <li>偏微分方程式</li> <li>応用幾何学</li> <li>情報ネットワーク</li> <li>情報理論</li> <li>制御工学</li> <li>電気電子計測</li> <li>ソフトウェア工学概論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子回路Ⅱ</li> <li>コンピュータグラフィックスⅡ</li> <li>メカトロニクスⅡ</li> <li>ロボティクスⅠ</li> <li>通信工学Ⅰ</li> <li>最適化手法</li> <li>情報セキュリティ概論</li> <li>ソフトコンピューティング</li> <li>情報と職業</li> <li>現代制御理論</li> <li>人間工学</li> <li>オブジェクト指向技術</li> <li>外書講読演習Ⅰ</li> <li>システム工学実験Ⅰ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報応用代数</li> <li>パターン認識</li> <li>数値計算法</li> <li>ロボティクスⅡ</li> <li>通信工学Ⅱ</li> <li>マルコフ決定過程</li> <li>デジタル制御</li> <li>協調設計とリアルタイム処理</li> <li>ヒューマンインタフェース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信法規</li> <li>知的財産権</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーション技法</li> </ul>	
全学共通プログラム・外国語系科目 ※P10					<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術文書作成法</li> <li>卒業研究Ⅰ・Ⅱ</li> </ul>		



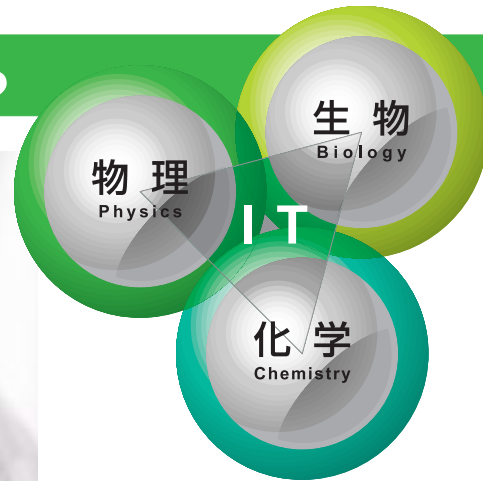
# 学部総合科目

多彩な分野と融合。情報科学の可能性を広げる

## 情報システムを総合的にデザインする

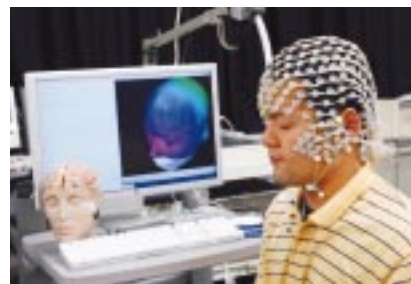


バイオシステム工学研究室では、バイオエネルギー、環境浄化、再資源化、色覚など、生物機能の利用をめざした研究をしています。



情報科学は他の分野と複雑に融合しながら急激な変化・拡大を見せています。こうした流れに対応し、学部総合科目では、情報科学と自然科学（物理、化学、生物）との融合領域の専門知識を習得します。最新のコンピュータ技術とそれを展開すべき産業技術に精通し、高度情報化社会で活躍できる人材の育成を目指しています。

### 生体理工学研究室



生体理工学研究室では、人間の脳の情報処理メカニズムに関する研究を行っています。脳活動に伴い発生する電位や磁界を計測解析することにより脳の活動部位を正確に調べることができるシステムを開発しています。また、経頭蓋磁気刺激という手法を用いて脳の特定部位を刺激するシステムの開発を行っています。独自に開発したこれらのシステムを駆使して、“脳”という未知なるコンピュータの動作原理の解明に取り組んでいます。

### 集積回路デバイス研究室



コンピュータは数センチメートル角のシリコン片上に集積した数千万のトランジスタ（集積回路）によってできています。研究室では、一つひとつのトランジスタを測定、解析し、そのデータを自然現象の法則に則って予測したトランジスタの特性と照合。予測とは異なる結果に対して、どこにその問題があるかを追究、解明し、自然現象を機能デバイスとして利用するための研究に活用しています。

### 電子光システム研究室



高機能・高性能な情報処理機器や通信機器も半導体などの材料からなるデバイスの集積化によって構成されています。この半導体材料の光学的、電気的性質などの物性を調べ、それらの性質に関わる新材料・新デバイスについて研究しています。具体的には、混在する回路を一体化し、コンパクトで安心、安価な半導体を実現するシリコンを使った半導体の製作、評価に取り組み、新しいデバイスに応用できる基礎技術の研究を進めています。

## CURRICULUM

- 情報物性工学Ⅰ・Ⅱ ■電気磁気学 ■生体センサ工学 ■電気電子計測 ■電気・電子材料 ■電子光デバイス ■生体情報工学 ■化学物理 ■創造科学概論
- 光エレクトロニクス ■集積回路 ■アナログ回路シミュレーション ■情報物性計測システム ■機能性材料

### 教員一覧

教授 堀居 賢樹 Kenju HORII	学部長 電子情報工学	教授 矢野 卓雄 Takuo YANO	バイオシステム工学	教授 石渡 孝 Takashi ISHIWATA	レーザー化学	教授 寺田 和夫 Kazu TERADA	機能デバイス学	教授 樋脇 治 Osamu HIWAKI	生体工学
准教授 福島 勝 Masaru FUKUSHIMA	レーザー分光	講師 桑田 精一 Seiichi KUWATA	物性理論	准教授 中中公一 Koichi TANAKA	電子光物性	准教授 寺内 衛 Mamoru TERAUCHI	集積回路工学 科学教育	准教授 中野 靖久 Yasuhisa NAKANO	視覚情報工学
講師 福田 浩士 Kouji FUKUDA	計算論的神経科学	講師 藤原 真 Makoto FUJIWARA	電子光システム	講師 香田 次郎 Jiro KODA	生物学	講師 中野 幸夫 Yukio NAKANO	大気環境化学	講師 八方 直久 Naohisa HAPPO	情報物性
				講師 藤原 久志 Hisashi FUJIWARA	光情報計測	助教 小田垣 雅人 Masato ODAGAKI	生体医工学	助教 辻 勝弘 Katsuhiko TSUJII	集積回路デバイス

\*の教員は平成19年度末に退職の予定です。

## 情報科学部の主な研究設備

基礎から応用まで多様に活用できる学びの環境を整備



VSAT地球局 情報工学科

これは衛星通信で利用する超小型地球局（VSAT）の直径1.8mのアンテナです。このVSATシステムは、比較的小さなアンテナを用いており、災害時における緊急通信路の確保や多地点への映像伝送等を可能としています。



TV会議システム 情報工学科

インターネットを用いるテレビ会議システムを利用すると、離れた大学ともまるで対面で話しているかのように議論ができます。広島市立大学にしながら全世界の大学などと研究交流したり、遠隔講義が実施されています。



自動作曲システム 知能工学科

ある作曲家の作品の中から数曲を選び、音符を数字に置き換えて解析することによって、作曲の法則を特定。その法則を活かしながら新しいオリジナルなメロディーをコンピュータに作らせるプログラムの開発を行います。



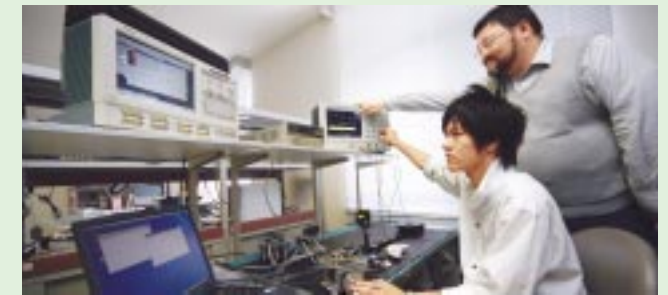
大規模PCクラスター 知能工学科

PCクラスターは複数のパソコンをネットワークで接続したシステムです。128台のパソコンで構成されるPCクラスターを用いて、大規模な計算やデータ処理の並列化に関する研究を行っています。



骨導音インターフェイス システム工学科

F-1の通信システムで使われているマイクを使って、騒音下での音声認識システムを作っています。骨の振動によって音声（骨導音）を伝えるので、船舶の機関室や工場など騒音が多様な環境でのコミュニケーションが可能です。骨導音の音声品質の向上についても検討しています。



移動ロボット システム工学科

サッカーゲームを行う、空間の形状やそこで起こっている状態を把握する。何台かの移動ロボットに共同作業をさせることによって、より効果的、効率的な結果を導き出します。その移動ロボットに搭載させるセンサーや制御用コンピュータの開発に取り組みます。



バイオリクター 学部総合科目

安全性、効率化、品質のレベルアップを図る製造設備の自動化に取り組んでいます。その一環として植物油を原料とするバイオディーゼル燃料の生産時に排出される副産物を微生物の能力を活かしてリサイクルし、地球に優しい新エネルギーの開発を試みています。



レーザー分析装置 学部総合科目

我々の生活する普通の環境では存在できない特殊な分子を合成し、レーザーを使ってその特性を直接観測する実験装置です。半導体結晶の気相エピタキシャル成長過程や太陽電池などに利用されているアモルファス半導体の化学蒸着（CVD）過程で大きな役割を担う分子を研究しています。



# 研究紹介

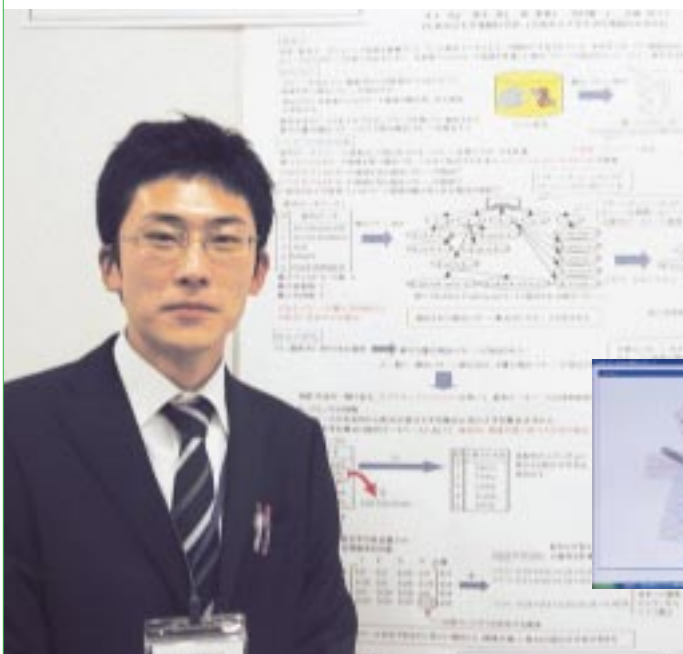
## 確かな基礎と自由な発想を情報科学の最先端研究に活かす

柔軟かつ論理的な思考と旺盛な探究心。高度情報社会が求める優れた技術の開発とその応用、そしてシステムの構築をめざして多様な角度から研究に取り組んでいます。

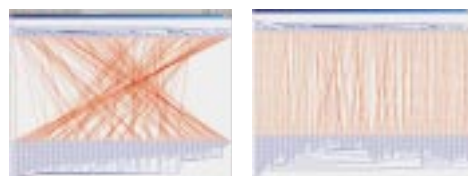
### 超高速データマイニングの研究

#### 努力をもって功を成す

情報科学研究科 博士前期課程 知能工学専攻 2年 加藤 智之 Tomoyuki KATO



Web上やコンピュータシステムに蓄積されている膨大なデータの中から特徴的で役に立つ「知識(情報)」を発見するための仕組みを研究しています。具体的には、顧客の購買履歴を解析する、ブログ内の記事同士のリンク情報からコミュニティを抽出する、あるいはヒトをはじめとする生物のDNAやアミノ酸などの分子配列データの遺伝情報やタンパク質の立体構造を解析するなど、多くの場面で有効に活用できる仕組みの構築です。解析対象となるデータは一般的には大規模で、全てのデータを解析するには膨大な計算時間を要するため、作業の効率化の工夫にも取り組んでいます。将来的には、過去の情報から台風の進路の予測などの災害対策、病気の治療履歴から次に発症しうる病気の予測・予防にも応用できるものと思っています。私は、「研究を通して大きな結果を残したい」その一念から努力を重ね、学会の論文誌や国際会議で自分の研究成果を発表する機会を得、それが国内外で認められたことが大きな自信となりました。今後もこれまで培ったデータベースを扱う知識を活かして社会貢献していきたいです。



### 仰臥位搬送時に起こる血圧変動のモデリング

#### 人に優しい車両の実現に向けて

情報科学研究科 博士前期課程 システム工学専攻 1年 坂谷 健治 Kenji SAKATANI



一般に救急車による緊急搬送では、患者は仰向けで運ばれます。そのため、車両が加速・減速すると患者の頭足方向に加速度による慣性力が作用し、血液の強制的な移動によって血圧が変動します。この血圧変動は、特に脳に注目すると脳圧の変動を引き起こし、脳卒中のような脳に疾患のある患者にさらなるダメージを与える可能性もあるのです。患者を安全に搬送するためには、この血圧変動の抑制が重要です。研究では、頭足方向に作用する加速度と血圧変動との関係を定量的に解析し、加速度に起因する血圧変動のモデリングに取り組んでいます。最終的には実際に患者を乗せてテストを行わなくても、コンピュータ上でテストができるドライビングシミュレーションなどへの応用が考えられます。人間を対象とする研究なので、血圧変動が続くと自分で抑制しようとする力が働くなど、人間の複雑な生体特性が絡み、手こずることも多々ありました。けれど、段階を踏んで徐々にモデリングが出来上がっていく快感は、言葉では言い表せないほど。また、人間の生体特性の素晴らしさ、不思議さに改めて感動しました。



シミュレーションに必要な処理を行うプログラム



血圧変動のシミュレーション

### LSI(集積回路)のテスト手法の研究

#### 効率のよいテスト手法を開発

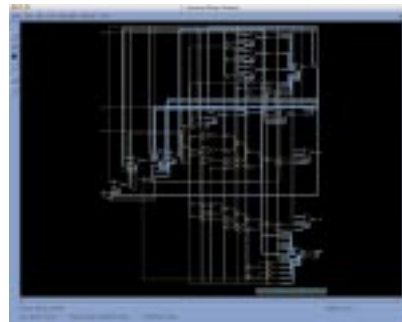
情報科学研究科 博士前期課程 情報工学専攻 1年 怒和 友美 Tomomi NUWA



コンピュータや電気製品などに使われているLSI(集積回路)のテスト手法を研究しています。LSIとは、トランジスタ、抵抗、コンデンサ、ダイオードなどの素子を集めて基盤の上に装着し、各種の機能を持たせた電子回路のこと。このLSIが時代の変化とともに大規模化、高速化し、LSI自体のテストが難しくなり、その結果LSIの製造におけるトータルコストに対して、テストにかかるコストの割合が大きくなってきています。そこで、テストコストの削減を目的としたテスト手法の研究がなされるようになりました。

私は、その中でも回路の遅延故障に関するテストについての研究を行っています。何種類かあるテスト手法を組み合わせ、互いの利点を活かし、より検出率を向上させる方法の開発に取り組んでいます。

私は、3年間で卒業する「早期卒業」の対象者で、3年生で講座に配属された時点では、まだ必修の授業がいくつかありました。卒業研究との両立には大変でしたが、先生方をはじめ、先輩方、友だちに支えていただき乗り切ることができました。恵まれた環境に感謝しています。

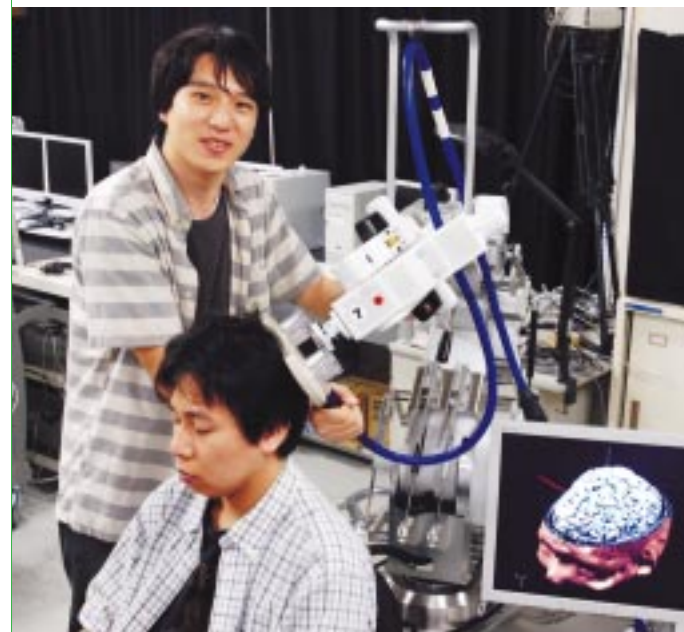


研究に用いているLSI設計ツール

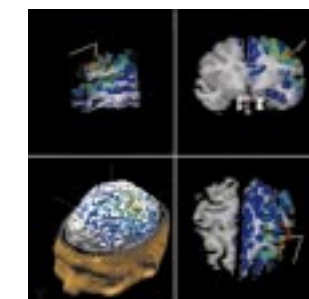
### 脳機能の非侵襲的計測解析システムの開発

#### 未知なる脳機能の解明に挑戦

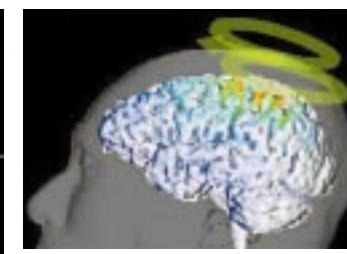
情報科学研究科 博士前期課程 創造科学専攻 1年 池田 太郎 Taro IKEDA



脳機能の解明を目指した研究を行っています。脳の中では、電気的な情報の処理が行われていますが、この脳内の電気的な信号は外部からの刺激を加えることにより制御することができます。経頭蓋磁気刺激法(TMS)という方法があり、コイルで生成したパルス磁気により二次的に頭の内部に誘導された電界によって、痛みなどをまったく伴わず安全に脳の神経を刺激することができます。私は、このTMSを利用して脳の特定位をロボットアームで自動的に刺激するシステムの開発を行っています。このシステムは、刺激用コイルを自動的に配置するシステムと外からは見えない脳の位置をMRIと三次元スキャナーを用いて算出するシステムから構成されています。この研究により、人間の未知なる脳機能の解明という目標に向かって少しでも前進したいと思っています。



脳の推定刺激部位の表示システム



脳と刺激用コイルの位置を示す三次元グラフィックス



# 芸術学部

自己と対話し、自己を鍛える。  
そこから私らしさが生まれてくる。

## 基礎美学を重視した実技主体の教育が芸術学部の特色です。

芸術は、自由な精神を土台として、人間性を表現する人間そのものの行為です。

芸術学部では、現代社会におけるこの芸術の必要性と役割を認識しながら、広範な活動領域での持続的な創作活動やその企画に従事でき、国際的にも活躍できる人材の育成に努めています。そのために各分野における基礎実技と、制作の精神的支柱となる理論的基礎を修得するとともに、学科や専攻にとらわれず学生が自らの表現の可能性をたえず探究しているよう多角的な教育研究を行います。また国際的な視野のもとに海外の大学や地域社会など、大学の外ともつながる刺激的な活動の場を、学生と教員が一体となって創り出しています。また国際関係論や情報処理など3学部の連携による幅広い教養教育のもとに、芸術文化を盛り上げて、その新たな局面を切り開いていく自立した人間性を育む教育を行います。なお1998年(平成10年)4月に大学院博士前期課程(修士課程)を、2000年(平成12年)4月に、同後期課程(博士課程)を開設しました。大学院において、より専門的で優れた創作活動を目指す人材を育成します。

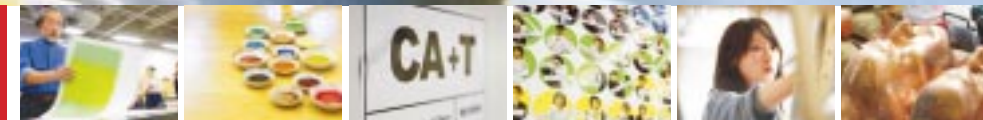


### アーティストとしての修行だよ

芸術学部長 若山 裕昭 Hiroaki WAKAYAMA

アートの世界では、人まねや二番煎じは評価されません。オリジナリティーが一番重要と考えられています。自分のオリジナリティーを見出すためには、自己を見つめ、そして世の中のいろいろな動き・出来事・現象に興味を持つことが必要です。それらを深く追求することから思考が深まり、その結果として感動が生じます。物事に感動する心情は、アーティストには欠かせない感性です。無関心・無思考からは何も生じないと思って下さい。

## 枠にとらわれない—創作活動を支えるのは幅広い知識と表現



Art

専攻を決め深く追求する美術学科。幅広く学び専門の表現法を見つけるデザイン工芸学科。

美術学科は1年次から各専攻ごとに実習に力を入れ、確実な技法の修得をめざします。デザイン工芸学科は、1年次にデザイン・工芸の基礎実技の学びを通して幅広い表現方法を身につけ、2年次から学生各自の希望・適性に応じて各専門分野に分かれて技術を磨いていきます。

1年次

■専門基礎科目 専攻に関わらず、創作活動の基盤となる幅広い分野の基礎知識と技法を学びます。

美術学科 日本画専攻 1年次から各専攻に分かれ、専門的な知識と技術を修得していきます。  
油絵専攻  
彫刻専攻

デザイン工芸学科 1年次ではデザイン・工芸の基礎実技を通して幅広い表現法を修得。2年次から各専門分野に分かれて、それぞれの道を追究していきます。

全学共通系科目・外国語系科目・資格取得科目

2年次

現代表現領域 現代表現  
視覚造形  
メディア造形  
立体造形  
金属造形  
漆造形  
染織造形

デザイン  
工芸領域

3年次

4年次

### ■卒業制作

卒業制作は、学部4年間の実習と創作研究活動の集大成として成果の発表を行い、自らの創作活動を確立し、社会へのメッセージを発信するものです。制作にあたっては十分な準備と時間をかけて、持てる力を限界まで引き出し、意欲的な表現を探究します。また広島市現代美術館と本学芸術資料館等における卒業制作作品の展示を出発点として、将来の創作活動の方向性を自覚するプロセスともなります。

進路については P.52

### 取得可能な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状(美術)
- 高等学校教諭一種免許状(工芸)
- 博物館、美術館などの学芸員



# 美術学科 Department of Fine Arts

**市大** 確実な基礎技法の上に表現力が花開く。個性と技術が作家活動につながる。

美術学科は純粋アートの制作を学ぶ学科です。ものの見方、形のとらえ方といった基礎力をしっかり磨き、そのうえに、日本画、油絵、彫刻の3つの専攻それぞれの技法を修得し、自分ならではの表現を追求していきます。1年次から各専攻ごとに実習に力を入れ、手の動きを積み重ねるなかから、確実な技法の修得をめざしていきますが、あわせて、専攻にとらわれず、さまざまな素材を使った表現の可能性も追求していきます。



**日本画専攻2年 荒尾仁美 Hitomi ARAO**  
 広島とは違う風景の中で、1週間ひたすらスケッチに取り組んだ写生旅行。他学部との学生や留学生との楽しい交流。教室の中だけでとどまらない、たくさんの学び、刺激が私の視野を広げてくれています。将来は、公募展にも出品し作家として一生描き続けていきたいと思うと同時に、美術教師もめざしており、教員免許取得のための勉強にも励んでいます。

## CURRICULUM

1年次	2年次	3年次	4年次
<b>日本画専攻</b> ●日本画実習Ⅰ ●デッサン実習Ⅰ ●構成実習Ⅰ(平面)	●材料論演習Ⅰ・Ⅱ ●日本画実習Ⅱ ●デッサン実習Ⅱ ●構成実習Ⅱ(平面)	●彫刻 ●日本画実習Ⅲ ●古美術研究(演習) ●材料論演習Ⅲ(金属材料)	●卒業制作 ●日本画実習Ⅳ ●特別演習(裏打技法) ●絵画論演習
<b>油絵専攻</b> ●油絵実習ⅠA・B ●デッサン実習Ⅰ ●構成実習Ⅰ(平面) ●彫刻	●油絵実習ⅡA・B ●デッサン実習Ⅱ ●構成実習Ⅱ(平面) ●版画制作実習Ⅰ	●学外演習 ●油絵材料・技法演習(古典技法) ●油絵実習ⅢA・B ●デッサン実習Ⅲ ●構成実習Ⅲ(平面) ●版画制作実習Ⅱ	●油絵実習ⅣA・B ●卒業制作A・B
<b>彫刻専攻</b> ●彫刻実習Ⅰ ●構成実習Ⅰ(平面) ●デッサン実習Ⅰ	●実材制作基礎実習(工芸制作を含む。) ●彫刻実習Ⅱ ●デッサン実習Ⅱ ●実材制作実習Ⅰ	●構成実習Ⅱ(平面・立体) ●彫刻実習Ⅲ ●古美術研究(演習) ●実材制作実習Ⅱ	●彫刻実習Ⅳ ●卒業制作
●美術解剖学 ●デザイン概論 ●工芸概論 ●現代美術演習Ⅰ ●油彩画材料論 ●油絵入門 ●日本画入門	●図法及び製図 ●西洋美術史 ●材料技法演習 ●総合演習C ●工芸制作Ⅰ・Ⅱ ●現代美術演習Ⅱ ●芸術工学 ●工芸材料概説	●写真(映像)概論 ●デザインと文化 ●現代美術史 ●現代美術論 ●版画制作演習 ●絵画論 ●造型応用研究	●美学 ●日本美術史 ●西洋美術史 ●文化財学 ●彫刻論 ●造型応用研究
全学共通系科目 外国語系科目			

### 日本画専攻

千年以上も続く日本画の技法や考え方を学生各自が実習を通して学び、独自の表現を追求していきます。1・2年では与えられた課題を中心に、3・4年では主に各自のテーマに基づいた自由制作に取り組みます。また、日本画の材料(和紙、絹、岩絵具、金・銀箔等)を用いた制作や古典模写などを通して歴史に残る優れた作品群への理解を深めるとともに、絵画表現の幅を広げていきます。

教授 倉島重友 Shigetomo KURASHIMA | 教授 西田俊英 Shunpei NISHIDA | 教授 北田克己 Katsumi KITADA | 教授 藁谷実 Minoru WARAYA | 准教授 佐々木正 Tadashi SASAKI

本物を見て感じて成長の糧に

日本画専攻4年  
**小林えぎな**  
 Egina KOBAYASHI

古美術の研究で京都と奈良を訪れ、国宝や重要文化財を間近に見ることができたのは、貴重な体験でした。本物を直接見ること、日本美術の奥深さや美しさを全身で感じることは、そのすべてが私の日本画に対する理解を深め、制作活動の糧になっています。



### 油絵専攻

基本的指導方針として、写実ないし具象表現を根幹とした教育を行います。1~4年次を通じてデッサンの重視と古典の研究を中心課題とし、油絵制作の実技を通して本格的な油絵の専門技術を修得します。さらに、絵画表現領域を拡大するため、各種版画の技法研究も行います。

教授 堀研 Migaku HORI | 教授 磯江毅 Tsuyoshi ISOE | 教授 友安一成 Kazunari TOMOYASU | 教授 吉井章 Akira YOSHII | 教授 大矢英雄 Hideo OYA | 准教授 森永昌司 Shoji MORINAGA | 助教 松尾真由美 Mayumi MATSUO

共に学び、共に歩み、共に成長する

油絵専攻2年  
**井原信次**  
 Shinji IHARA

夢は絵画の修復師。絵画の技法や歴史を学ぶことはもちろん、学部を越えているいろんな人と出会い、共に学び、つながっていくことが自分にとってプラスに働き、大きな力になっています。



### 彫刻専攻

4年間を通して、彫刻の基礎となる塑造を中心に制作を重ねます。人体をモデルとして、自然から彫刻芸術の基礎を学び、併せて東洋・西洋の古典を学習しながら、自らの創造基盤を作り上げます。1・2年次には、木・石・金属などの実材彫刻の基礎を学習し、3年次以降は、自由な制作活動の中から自己表現の方法を学びます。

教授 綿引道郎 Michio WATABIKI | 教授 植草正勝 Masakatsu UEKUSA | 芸術資料館館長 | 教授 前川義春 Yoshiharu MAEKAWA | 准教授 伊東敏光 Toshimitsu ITO | 助教 秋山隆 Takashi AKIYAMA

喜びや感動をもたらす個性豊かな作品を

彫刻専攻4年  
**丸橋光生**  
 Mitsuo MARUHASHI

彫刻論の授業で第一線で活躍されている方の話を聞くことができ、自分の進路を決める上で大いに参考になりました。自分も作家として人を喜ばせ、感動させる作品を創り続けていきたいと強く思います。



### 古美術研究演習

3年次の後期に、油絵専攻ではイタリアへ、日本画専攻・彫刻専攻とデザイン工芸学科は京都・奈良への古美術研究旅行を行います。





# 美術学科 学生作品 Students' Works

## 自己が息づく新しい文化を生み出す

描く、形づくる。一人ひとりの研ぎすまされた感性、  
確かな技術が創り出すオリジナリティあふれる世界。またひとつ、新しい文化が息づく。



日本画 前田 由芽「海からきた風」



油絵 岡 芳恵「わいら」(木版画)



日本画 大橋 智「記憶の形」



日本画 水野 さやか「刻」



日本画 沖田 友民  
「羅漢図第十三尊者(因揭陀)」現状模写



油絵 下園 博昭「大群はどこから来たのか?」



油絵 福丸 勝洋「自画像」



油絵 高橋 淳「時彩」



彫刻 野原 邦彦「DJ」



彫刻 池畑 好子「full」



彫刻 井川 広美「習作」







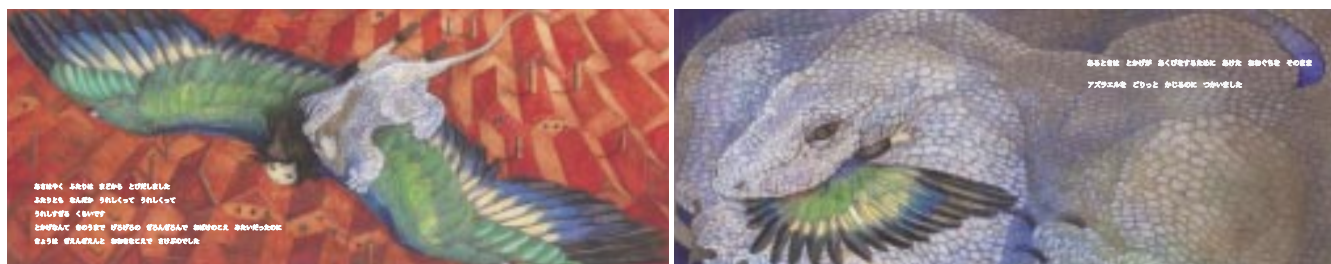
# デザイン工芸学科 学生作品 Students' Works

## 可能性への挑戦が未来を映し出す

織る、操る、デザインする。自分を信じ、自分に期待する熱い想いが生み出す無限の可能性。  
個性と技術の融合が、いま未来を映し出す。



メディア造形 西川 剛弘「Up to Maestro」(アニメーション作品)



視覚造形 福井 晴香「アズラエル」



立体造形 入江 早耶「ナツメダスト」



現代表現 今井 みはる「句読点としてのオードヴル」



漆造形 黒川 穂高「AM8:00」「PM0:00」「PM7:00」



金属造形 原田 武「鳳凰」



染織造形 田中 祐子「ゆれる」



## 創造工房 Studios

国内最大級のアトリエ群、ココから大きな夢と感動が生まれる。



日本画アトリエ

1・2年次では、古典模写・風景制作・人物制作・自由制作等の課題を通して、画面構成や色彩構成など基礎的な表現を学びます。



日本画大学院アトリエ

学部4年間で見つけたそれぞれの絵画世界を深め、独自性を持って表現できるよう創作研究に取り組みます。



模写室

古典作品の模写を通して優れた文化財の表現・技法・材料について研究し、作品制作へとつなげていきます。



メディア造形工房

コンピュータ操作のスキルやテクニックに留まらず、それをいかなる表現へと展開していくか…。オリジナルあふれる表現を追究していきます。



3D工房

3DCGによるモデリングからスケールモデル、1/1クレイモデルまでの原形制作と、三次元測定器による計測及び、そのデジタル処理によりプロダクトデザインのモデリングをサポートします。



漆工房

漆工房では、蒔絵、彫漆、螺鈿等の加飾造形実習、盆やお椀の素地を制作する輪軸造形実習、自由な造形表現が可能な乾漆造形実習等、さまざまな実習を行い、新たな自己表現をめざします。



油絵アトリエ

1・2年次では石膏像、静物、人物をモチーフに観察力を養い、デッサンと油彩の基礎力を磨きます。3・4年次では、個人課題に取り組み、より一層油彩表現を深めていきます。



大学院油絵アトリエ

学部4年間で得た絵画技法を土台に、独自の油彩表現を展開、発展させるよう創作研究に取り組みます。



フレスコ実習室

フレスコ実習(集中講義)では、フレスコ実習室内にあるレンガを積み上げた壁面に直接フレスコ画を描き、油彩画とは異なる描画方法を体験します。



鍛金・鍛造工房

金属の塑性加工(鍛金・鍛造)、溶接加工を行う工房です。「鍛金」とは、金属の板材を木槌や金槌で叩きながら成形していく絞り加工をさします。「鍛造」とは、加熱した金属の塊材を機械ハンマー、金槌で打ち延べ成形していく加工です。このような塑性加工や溶接技術を活用して大型作品の制作が可能です。



彫金工房

ジュエリー制作(指輪などの装身具)、レリーフ制作など比較的小さな作品を制作する工房です。繊細な溶接(ロー付)や、鑿(たがね)を使った金属表面への彫り、板材を打ち出しているレリーフ表現などを行います。



織工房

綴織・緞織・組織織など機(ハタ)を使った技法に加えて、機を使わず自由な発想と素材によって表現を試みるファイバーアートを学び、独自の作品制作へと展開します。



石膏室

「石膏像のある室内空間」の授業では、石膏デッサンの延長として油絵の具を使って石膏像のある室内空間を描き、空間の把握と油絵の具の表現効果を考えます。



版画工房

4つの代表的な版画技法(木版画・銅版画・石版画・シルスクリーン)の中から2年次では銅版画、3年次では石版画の実習に取り組み、版による表現について考察します。



木彫工房

1年次、2年次では木彫の基礎実習を行い、3年次以降、木彫独自の造形美を通し、さらなる技法の習得、木材研究を進め独自の表現を展開します。



染工房

型染・蒸染・スクリーンプリント(捺染)・友禅などの基本的な染め技法を習得し、それを基にした各自のオリジナルな表現による作品の可能性を探ります。



CA+Tラボラトリー

国内外の現代美術に関する図録を豊富に所蔵し、プレゼンテーション等を行うディスカッション・ルームと展示会を行う展示スペースを完備しています。



CGラボラトリー

本学の高度なネットワーク環境を生かし、3DCG、映像編集加工等のデジタルコンテンツ制作のためのマシンを始め、立体造型機、大型プリンターを備えた、高度に整備されたラボラトリーで、全専攻の学生の利用が可能です。



石彫工房

1・2年次には中硬石(安山岩)を使用し石彫の基礎技術を学びます。その後は御影石、大理石等の石材の特性を生かした造形に展開していきます。



金属工房

金属造形の基礎技術を学び、素材研究を進め金属彫刻の加工技術、その特性を生かした新たな方向性と可能性を追求します。



視覚造形工房

視覚造形では、あらゆる造形の基礎であるイメージを表現し伝えること(描く、書く、話す、作る、身体表現する等)を重視しながら創作研究に取り組みます。



VRスタジオ

全国の大学に先駆けて整備された、リアルタイムの合成の映像制作を可能にするバーチャル・リアリティ・スタジオシステムを中心に、ムービー、スティル両方の撮影が可能な映像スタジオで、学部、研究科学生の高度な映像作品の制作を支えています。

テラコッタ窯場



木工機械室

多くの木材加工機械を有し、課題の制作や木材・木質材料及び制作に関する指導・相談等の技術的支援基地。



金工機械室

金属の機械加工を行う工房です。大型材料の切断・切削、穴開け・折曲加工等が行える機械が整備されており、機械室専属の指導員が指導にあたります。



プラスチック塗装工房

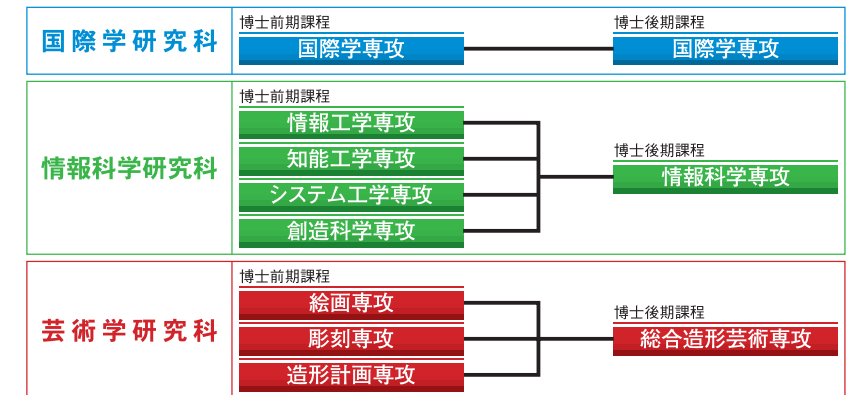
各種樹脂の加工室と専用の塗装ブースを備えています。また研磨のためのサンディング室も併設しています。

写真室

暗室



市大 **POWER OF HIROSHIMA CITY UNIVERSITY** 熱く、深く、鋭く。さらなる高みをめざして。



学びを深め、視野を広げる

国際学 研究科 博士前期課程 国際学専攻 1年

前田 未央 Mio MAEDA

高校時代にドイツに留学。  
日本語を勉強している外国人の多いことに気づき、  
外国人の日本語学習への興味が研究の原点に。



大学の卒論で外国人の日本語学習におけるオノマトペ（擬音語、擬態語）の学びについて研究。その卒論で思いがけず、平成18年度卒業論文グランプリで最優秀賞をいただきました。自分としてはまだまだ不十分で、もっと研究を続けたくて大学院へ進学しました。大学院は、最初から目的が明確で、先生の指導もマンツーマンなので、大学以上に密度の濃い学びができます。また、自分の研究だけでなく必須授業もあるので、これまでなされてきた研究の多様な手法を知り、広い視野を養うこともできます。私は、この研究を通して、将来の進路に日本語教師を考えるようになりました。その第一歩として、教えるとはどういうことかを体得するために英語教員の専修免許取得に励んでいます。



社会に通用する能力を培う

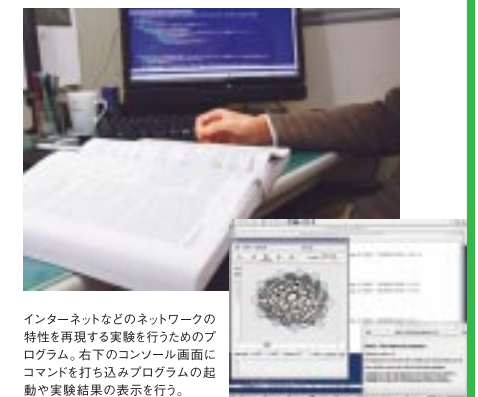
情報科学研究科 博士前期課程 情報工学専攻 2年

石津 明彦 Akihiko ISHIZU

ライブ会場などで観客同士が  
多角的な映像を共有する。  
ネットワーク利用の機能を備えた、  
新しい価値を創造する製品開発が夢。



大学4年時の就職活動中に、大学院の先輩が信念をもって就職活動されているのに接し、自分は何をしたいのかをちゃんと考え、動くことの大切さを痛感。大学でやり残した研究を続けたい気持ちに気づき、大学院への進学を決めました。大学院では、個人が所有しているコンピュータ間でファイル等のやりとりを行うP2Pネットワークについて研究。どうしたらもっと効率よくファイルのやりとりができるようになるかをテーマに取り組んでいます。研究を進めていくうちに、自分で考える力、研究内容などを短時間で他人に伝え、理解させるプレゼンテーション力が培われました。専門知識だけでなく社会に通用する能力を身につけることができたことが大きな自信となっています。



インターネットなどのネットワークの特性を再現する実験を行うためのプログラム。右下のコンソール画面にコマンドを打ち込みプログラムの起動や実験結果の表示を行う。

表現したい世界観を見つける

芸術学研究科 博士後期課程 総合造形芸術専攻 3年

山浦 めぐみ Megumi YAMAURA

高校3年の時に院展を見て、  
日本画の色の美しさに感動。  
その描画方法を勉強したいと思い  
市大芸術学部へ入学。



大学院は、大学で修得した基礎をもとに作家として自分自身が表現したい世界観を見つけるところ。また、先生方と作家同士としての関わりを通して、プロの作家の絵に対する姿勢や経験をより間近に知ることができる、人生においてとても貴重な時間だと思います。私は、自然の見せる瞬間的な情景や人間の内面性、心の動きといったものを、その前後にある“うつろい”の時間性とともに描くことをテーマに制作に取り組んできました。これからもそうしたものの美しさを表現できる、また、たくさんの人たちの何気ない日常が少しでも豊かになるような場所や空間の中で、自分の作品が関われる作家でありたいと願っています。その思いを大切に制作活動をしていきたいと思っています。









# 情報科学部

Information Sciences



## 子どもたちにとって恥ずかしくない大人でありたい

2004年3月 情報科学研究科 博士前期課程 修了

望月 慶輔 Keisuke MOCHIZUKI

広島市立三和中学校 勤務

進路を決めるとき、これまでの学びを活かして研究職に就くか、子どもの頃からの夢であった教職に就くかで随分迷いましたが、夢を捨てられない自分があることに気づき、教職の道を選びました。大学・大学院で学んだことが直接今の仕事に結びつく点は少ないかもしれませんが、3年間に在籍したゼミで鍛えられた社会人としての規範意識、物事に取り組む姿勢や情熱といったものは、

私のかげがえのない一部となっています。念願の数学教師となつてよかったと思うのは、子どもの成長を日々実感できること。また、学校行事やクラブ活動など、さまざまなシーンでひたむきな子どもたちから大きな感動をもらうことです。それだけに子どもたちにとって恥ずかしくない大人でありたい。子どもたちに本当に伝えたい、大切なことだけは決して譲らない教師でありたいと思います。



## どんな時でも多角的な視点と信念を持って仕事を遂行

2005年3月 情報科学研究科 博士前期課程 修了

外塚 英治 Eiji TOZUKA

日産自動車株式会社 総合研究所 モビリティ研究所 勤務

運転中に不安を感じず楽々乗れる自動車、毎日でも乗りたくなるような自動車。そんな自動車の新しい価値の創造をめざしています。そのステップのひとつとして、運転が苦手なドライバーが運転時に感じる不安や恐怖などを軽減させることを目的とした車内音声インタフェースを研究。関連業務の最新技術の動向はもちろん、他業種の関連動向や流行などにもアンテナを

張り、自動車としての実現方法と、それによる効果や商品性などを常に意識しながら働いています。そうした同じ事象をさまざまな角度から見るスキルを私は市大時代、3学部の多彩な分野の人との交流から学びました。これからも私の根本でもあり、研究者として必要な多角的な視点とともに、どんな時でもゆるぎない信念を持って、仕事に取り組んでいきたいと思っています。

情報科学部卒業後は、大きく2つの進路があります。  
会社員、公務員、教員として、社会に巣立つコースと、  
さらに専門知識・技術を磨くため大学院に進学するコースです。

### 企業に就職

今、最も注目されている情報分野の知識・技術を習得した情報科学部の学生は、卒業後、情報通信、ソフトウェア、情報機器製造、コンピュータなど、時代の最先端の企業にて活躍しています。これまで、次のような企業に就職しています(五十音順)。

※企業総数 約600社のうちの抜粋

- 伊藤忠テクノサイエンス
- ウツボフン
- NECシステムテクノロジー
- NTTデータ
- NTTドコモ
- NTTドコモ中国
- NTT西日本
- エネルギー・コミュニケーションズ
- エルピーダメモリ
- 沖電気工業
- オムロン
- オリパス
- キヤノン
- 京セラコミュニケーションシステム
- 熊平製作所
- KDDI
- サタケ
- 三洋電機
- JR九州
- JR西日本
- シャープ
- シャープビジネスコンピュータソフトウェア
- 住友金属システムソリューションズ
- セイコーエプソン
- 積水ハウス
- ソニー
- ソニーLSIデザイン
- 大日本印刷
- 中電工
- テオデオ
- デンソー
- 東芝
- 東芝情報システム
- 凸版印刷
- 日産自動車
- 日本電気
- 日本IBM
- 日本IBM中国ソリューション
- パナソニックアドバンステクノロジー
- 浜松ホトニクス
- 日立ソフトウェアエンジニアリング
- 日立製作所
- 広島銀行
- 広島電鉄
- 富士ゼロックス
- 富士通
- 富士通中国システムズ
- 富士通テン
- リクルート
- 松下電器産業
- マツダ
- 三菱重工
- 横河電機
- リコー
- ローム
- YKK

### 大学院に進学

情報科学部の卒業生のうち、例年約40%の学生が本学の大学院に進学しています。また、他大学の大学院に進学する学生もいます。これまで、九州大学、京都大学、神戸大学、静岡大学、東京工業大学、奈良先端科学技術大学院大学、広島大学、筑波大学などの大学院に進学しています。

### 公務員・教員

一般企業のほか、公務員や教員として活躍している卒業生もいます。これまでの主な進路は、神奈川県教員、国土交通省中国地方整備局、財務省造幣局、中国管区警察局、広島県警察本部、広島市教員、広島市役所、防衛庁海上自衛隊、防衛庁航空自衛隊などです。

# 芸術学部

Art



## 何事もあきらめない。めざすは世界!

2002年3月 芸術学研究科 博士前期課程 修了

北條 真理 Mari HOJO

株式会社川島織物セルコン 自動車事業部 商品部

現在、車両のシートファブリックのデザイン開発を担当。市大時代、大作に挑むことによって身につけた集中力、忍耐力そしてテキスタイルデザインの知識が今に結びついています。また、先生をはじめ、多くの人に出会い支えられて、今の自分があると実感しています。自分がデザインしたものが市場に出て、さまざまな人に使われ

ている…。そんなシーンに出会うと、本当にうれしいですね。将来は、グローバルに仕事を展開していきたいです。また、人との関わりを大切に、現在の仕事を後につなげていけるような存在になりたい。そのために最後まであきらめず粘り強く考えること、一緒に仕事をする人たちとコミュニケーションを密にすることをモットーにこれからも頑張ります。



## 学生とともに成長しながら描き続ける

2000年3月 芸術学研究科 博士前期課程 修了

廣藤 良樹 Yoshiki HIROFUJI

尾道大学芸術文化学部美術学科 勤務

尾道大学美術学科の助手として勤務。日々、作家として活躍されている先生方や、作家をめざして頑張っている学生と接し、また多くの作品を通して、いろいろな人間性や価値観にふれることが、自分の人間としての幅をひろげていてくれているような気がします。また、自分が学生だったころの恩師の指導や学生への接し方が、いま同じ大学という場で働く私にとっては、た

いへん役に立っています。自分が教わったたくさんのことを、今度は自分が学生たちに伝えていく…。責任も重いですが、学生が人間として、あるいは作家として成長していく姿は、見ていて本当にうれしいものです。私も彼ら学生とともに成長し、これからも自分の表現が一人でも多くの人に共感してもらえる絵を描き続けていきたいと思っています。

### 創作活動

#### 入選

院展、春の院展、雪舟の里絵社墨彩画展、川尻町「筆と芸術の祭典」全国水墨画展、国民文化祭美術展、前田青郁記念大賞展、松伯美術館花鳥画展、多摩総合美術展、中国第3回全国水彩画展、新制作展、インド国際トリエンナーレ、雪舟すず大賞展、北陸中日美術展、関西国展、国展、現代日本絵画展宇部ビエンナーレ、リキテック・ビエンナーレ、FUKUIサムホール美術展、雪染舎フィレンツェ賞展、広島県美術展、二科展、二科展広島展、青垣日本画展、福知山市佐藤太清賞公募美術展

#### 入賞

三田市展(奨励賞)、春の院展(奨励賞)、松伯美術館花鳥画展(優秀賞)、大阪絵画トリエンナーレ(特別賞)、青年美術家展(最高賞)、シルバンギャラリー油彩画展(最高賞)、バングラディッシュ国展(佳作賞)、「広島美術」(奨励賞)、関西新制作展(記念賞・大阪市賞)、新制作展(新作家賞)、全国学生版画展(優秀賞)、雪染舎フィレンツェ大賞展(優秀賞)、国民文化祭美術展(広島市長賞)、FUKUIサムホール美術展(奨励賞)、しんわ大賞展(努力賞)、しんわ美術賞展(大賞)、ビエンナーレKUMAMOTO(熊本文化協会賞)、大調和展(東京都知事賞)、二科展(記念賞・特選)、二科展広島展(広島二科賞・広島市長賞)、日本伝統工芸展(東京都知事賞)、京展(京都市美術館賞・コレクション賞)、ボンベイサファイア デザインコンペティション(日本グランプリ)、東京デザイナーズウィーク(Tokyo Design Premio)学校賞・デザインプレミオ賞・喜多俊之賞・100%デザイン賞、日本版画会展(奨励賞・会友賞)、Bloomberg new contemporaries、白日展(白日賞)、Re-Act 新・公募展2007(審査員賞)

#### グループ展・個展

芸美会展、HOPES、新星展、日本画4人展、日本画5人展、日本画2人展、母娘展、広島の絵画110人展、日本画・油絵有志合同展、ハタチゼンゴ展、+C展、第1回240展、事項展、想像展、ummi展、萌黄展、ふうの会展、exhibition1995・1997、桐美会展、中韓交流展、YAZIRU同盟展、西美研展、ロイヤル・オーバーシーズリーグ展、富田賞候補作家展、バングラディッシュ美術展ポナール・サマーフェスティバル、視展、RUBICON展、ネットギャラリー-BOX個展、sight展、かえるてん、8colors exhibition、NORMAL展、象の会展、LUNCH BOX「遊」、 「若き画家たちからのメッセージ2002」展、e.e.展、有朋展、洋画四人展、現代Asian Art Now、99312展、ポリリッモ展、state展、表裏都市metamorphosis広島一芸術実験プロジェクト2003、東広島現代芸術プログラム2003「白市DNA」、アストラムライン・ミニギャラリー-ART COMMUNITY「TOMO」、広島デザイナーズフェスタ、金属造形展、現代美術交流展、果MONO展、東京デザイナーズウィーク学生作品展、その他、グループ展・個展 多数

### 就職先一覧「五十音順、敬称略」

- (株) アーツ
- アートコレクションハウス(株)
- (有) アートディレクト
- アイメディア(株)
- 朝日精版印刷(株)
- 穴吹デザイン専門学校
- (株) アルファ
- (有) アルフォックス
- (株) いかりスーパーマーケット
- イケダ(株)
- (株) 石友
- (株) インフォ・エヌ
- (株) ウィンクツー
- (株) 内田洋行
- (株) ウッドワン
- (株) 栄光エージェンシー
- (株) エムアールビー
- (株) オガワ
- (株) 小樽工芸舎
- (株) 勝矢和哉
- (有) 家庭学習研究社
- ガリレア・レイノ(株)
- (株) 河崎組
- (株) 川島織物
- (株) 河部工業所
- 漢陽大学(韓国)
- (株) きものブレイン
- 九州大日本印刷(株)
- (有) 近代印刷
- 串井木材(株)
- (株) クリエイティブヨーコ
- クロムスベシキリティ
- (株) ケイ・ウノ
- (株) KEG情報
- (株) 深木社
- (株) 幼生社
- (株) コトブキ
- コナミキャリアマネジメント(株)
- コムニ(株)
- さきたまデザインセンター(株)
- 佐々木木工(株)
- 産興(株)
- 三徳商事(株)
- (株) サンワ
- シータープロジェクト
- (株) ジェイ・エム・エス
- シグナルワーク・コーポレーション
- (株) ジャパンプリントシステムズ
- 真生印刷(株)
- (株) スギヨ
- (株) 鈴花
- (株) スズキ紙工
- (有) スタジオ美雅
- (株) ステージユニオン広島
- ストーンハウス
- (株) スペース
- スマイルchanランチ
- (株) 生活者房
- セキ(株)
- (株) セザッククリエイティブ
- 総合衣装計画
- (株) 総合オリズム社
- (有) ヒロミ・アート
- SOLALA.Co.,Ltd.
- 大成印刷(株)
- 大和グラフィア(株)
- (株) タカキュー
- 高島華南大正ロマン館
- タカヤ商事(株)
- 瀧定(株)
- (株) タックルボックス
- 中外テクノス(株)
- D-コーロ研究所
- (株) ティ・エス・エス・ソフトウェア
- (株) TSSプロダクション
- (株) デザイン総研広島
- デジタルスタッフ
- (株) 電通
- トロー(株)
- (株) トッパン・アイデアセンター西日本
- (有) 村上染織工房
- (有) メディウス
- (株) ナウプロダクション
- (株) ニシキプリント
- 西日本印刷(株)
- 日本建築(株)
- (有) ワタナベ
- (株) 日本サンガリアペルパージュカンパニー
- 渡辺デザイン事務所
- (株) ニューステップ
- 任天堂(株)
- (株) ネットワークス
- (株) 博展
- (社) ハスビ
- パッケージモーツァルト
- (株) ハドソン
- (株) ハル研究所
- (株) ハルラボラトリー
- パンビ(株)
- (株) ビーエーワークス
- 東原産業(株)
- (社) ひさわ福祉会
- 広島県教育委員会
- 広島市関係団体
- 広島市教育委員会
- (株) 広島東洋カープ
- 広島舟入商業高等専修学校
- 広島三菱ふそう自動車販売(株)
- (有) ヒロミ・アート
- (株) フィル・エグチャーレ
- (株) フェスタ
- (株) フラントル
- (株) タカキュー
- (株) ホーラ
- (株) ボックスインク
- (株) ボニーキャニオン
- (株) ホンクリエイト
- ポワプリエール
- D-コーロ研究所
- (株) ティ・エス・エス・ソフトウェア
- (株) ホンダ産業
- マツダ(株)
- まつやセロファン(株)
- (株) モルニ
- (株) ミスト
- (株) みやび
- (有) 無二
- 友野印刷(株)
- 豊田紡織(株)
- (株) ナウプロダクション
- (株) ニシキプリント
- 西日本印刷(株)
- 日本建築(株)
- (有) ワタナベ
- (株) 日本サンガリアペルパージュカンパニー
- 渡辺デザイン事務所



進路相談で自分のやるべきことがだんだん見えてきた。



# サポート体制

## 就職・キャリアサポート



### 進路支援の二大特徴

#### きめ細かな個別支援

マンモス大学と違い、入学時から全ての学生にきめ細かくサポートしているのが特徴です。進路においても同じ。就職活動期の学生に限らず、1年生から進路相談を行い、個々の志望や適性などに沿って“きめ細かく”指導・支援していきます。

#### 大学をあげての支援

大学をあげて進路支援に取り組みます。毎年、大学説明会を開催し、企業の採用担当者の方へPRするほか、一年を通じて、企業訪問などにより情報収集し学生に提供しています。

# 充実した学生生活を徹底支援 **市大** POWER OF HIROSHIMA CITY UNIVERSITY

「自ら進路を切り拓いていく」、そのためのサポートをします。

大学の役割は人材育成。優れた人材を育て、社会に送り出すことが使命だと考えています。開学以来ほぼ97%前後の就職率を維持していますが、単に就職率を上げるだけでなく、4年間を通じて、一人ひとりの進路（進学・就職・創作活動など）に対して大学をあげてサポートしています。

### 充実した進路・就職ガイダンス・セミナー

就職活動の方法など総論的なものから実践的なものまで、全学年対象として、年間40回以上の進路・就職ガイダンス・セミナーを開講しています。一例をあげると、学部別の進学・就職説明会、6回の就職ガイダンス（就職活動の流れやポイント）、OB・OGセミナー、面接・筆記試験対策講座、学内での企業セミナーなどです。これらのガイダンス・セミナーのほか、企業見学や公務員試験模試、教員採用試験の実践指導なども、就職対策としてきめ細かく行っています。

### インターンシップ

企業などで実習体験する「インターンシップ」をキャリア形成の柱の一つに位置づけています。単に体験するだけでなく、実習と事前セミナーや報告会とを組み合わせて、実になるものを目指し、インターンシップ研修の充実や協力企業の開拓にも取り組んでいます。また、広島市教育委員会と連携して、教員志望者を対象とした広島市立学校での実習体験活動を行っています。

### キャリア形成支援への取り組み

就職支援・対策に加え、キャリア形成を支援するための授業科目の新設など、入学後早期からの体系的な「キャリア形成プログラム」の構築・実施に取り組んでいます。

### 就職ガイダンス・セミナー



詳しくはホームページをご覧ください (<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/shugaku/rec3/>)

## 大学生活サポート



### 海外語学研修補助事業

学生が海外の大学又は研修機関で語学研修を受ける場合、旅費、研修費用等を補助します。対象となる外国語に制限はありません。補助金交付対象者は、2年生以上の学生で広く学内から公募します。応募者が多い場合には、本学での成績や面接等で選考します。

[平成18年度学生海外語学研修補助事業(実績)]

学部	研修期間	研修先
国際学部	H18.9.1 ~ H18.9.20	フランス・パリ/フランス語教育振興委員会
	H18.7.30 ~ H18.8.18	カナダ・バンクーバー/EF インターナショナル ランゲージスクール
情報科学部	H19.2.26 ~ H19.3.23	イギリス・ロンドン/セントジャイルズ・インターナショナル
芸術学部	H18.8.27 ~ H18.9.23	ドイツ・ミュンヘン/EF インターナショナル スクール

授業やクラブ活動をはじめ、心身の健康や経済的なことまで、在学中のあらゆる生活をサポートします。

### 経済面をサポート

「日本学生支援機構奨学金」をはじめ、自治体や民間団体などさまざまな奨学金を扱っているほか、銀行から授業料の融資を受けた学生に在学中の利子を補助する独自の奨学制度もあります。また、一定の要件で入学検定料や入学金、授業料の減免や授業料の納付猶予を行っています。

### 住居・生活をサポート

キャンパス内に学生寮（個室・男女各48室）があり、全国の学生や留学生が入寮し、共に生活しています。もちろんアパート・ワンルームマンション・下宿などの賃貸情報も提供。マルチ商法やクレジット・トラブルに巻き込まれた時などのため、弁護士による法律相談も行っています。

### エンジョイをサポート

クラブ・サークル活動費や備品整備費、大学祭や西風新都駅伝大会などの学生主催イベント経費をはじめ、学生が企画・参加して留学生や外国人と交流する国際交流事業、自主研究活動や展覧会などを行う場合の経費を大学後援会から助成しています。また、ボランティア情報コーナーを設置してボランティア情報も提供。毎年6月には市内一円でされるごみゼロ・クリーンウォークへ参加したり、秋には通学路クリーンキャンペーンを行うなど、幅広い活動を行っています。その他、サッカーボールやキャンプ・レジャー用品、視覚機器などの無料貸し出しもしています。

### 心身の健康・安心をサポート

学生の“いやしの場”にもなっている医務室では、ケガや病気の処置はもちろんのこと、健康相談も行っています。また、心配事や悩みを聞いたり、落ち込んだ時の支えとなる、あるいは“自分探し”を手伝う学生相談、楽しくスポーツができるようにトレーニング方法などを体育教員がアドバイスするスポーツ相談も実施しています。さらに通学中や大学内、クラブ活動中にケガした時などのために傷害保険・賠償責任保険への加入や、個人ロッカーの無料貸し出しなど、快適な学生生活が送れるように配慮しています。



都道府県別入学者数  
(平成16~19年度の入学生の合計)  
※大学院を除く

在学生分類区分

- 0人
- 1~10人
- 11~20人
- 21人以上



刺激的な交流が次々うまれる芝生の広場がお気に入り。



# キャンパスマップ

ココロの中を自由な風が吹き抜ける

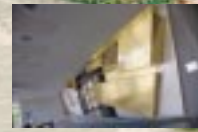
- ① 本部棟
- ② 講堂
- ③ 附属図書館・語学センター棟
- ④ 学生会館
- ⑤ 情報科学部棟
- ⑥ 情報科学部棟別館
- ⑦ 国際学部棟
- ⑧ 芸術学部棟
- ⑨ 情報処理センター
- ⑩ 講義棟
- ⑪ 芸術資料館
- ⑫ 工房棟
- ⑬ 体育館
- ⑭ グラウンド
- ⑮ 400メートルトラック・フィールド
- ⑯ エネルギーセンター
- ⑰ 多目的広場
- ⑱ 学生寮



**体育館**  
バスケットコートが2面取れるアリーナや、本格的なトレーニングルーム等を備えた体育館。授業やクラブ、サークル活動のほかにも、多目的な利用が可能です。



**学生会館**  
学生食堂やクラブハウス、売店、キャッシュレスベンチャーコーナーなど、学生生活に欠かせない機能がそろっているのが、ここ。なかでも、学生食堂は、吹き抜けの天井から太陽の光が射し込む心地よい空間。ランチメニューも充実しており、カフェテリアのラウンドテーブルでランチしたり、お茶したり。学生たちの交流の場となっています。



**講堂**  
壁面レリーフや舞台の織帳などに芸術学部教員たちの作品を活かした、本学ならではの施設。大小のホールと、ハイビジョン対応大型スクリーンや国際会議も可能な同時通訳設備と、機能も充実しています。



**医務室・学生相談室**  
心身の健康上の悩みや相談に応じ、学生の「疾病の予防」と「健康相談」を中心に健康の維持増進を図ります。



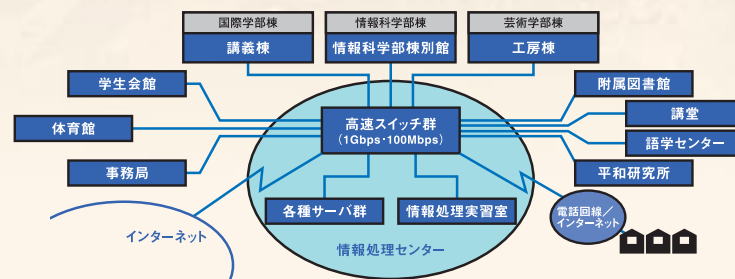
**グラウンド**  
全天候型のテニスコート4面と、野球、サッカーなどが可能な運動場があります。サークル、クラブ活動以外でも、利用することができます。

広島市立大学キャンパスデザイン 株式会社佐藤総合計画  
広島市西部に位置する丘陵地である現状の地形を生かして3つの学部棟を配置し、各施設の独自性を形態で表現するとともに回廊により相互の連携を強化する計画としています。アクセス道路沿いに大学と地域社会・研究者との交流の接点となるプラザ群を開放的で潤いのある空間として計画し、開かれたキャンパスを視覚的にも表現しています。

## 附属施設 Attached Facilities

教育を支援する附属施設群。しっかり活用してください。

[キャンパス情報ネットワーク]

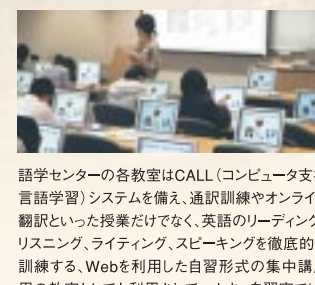


**附属図書館**  
附属図書館長 服部 等作 | Tosaku HATTORI  
芸術学部教授



図書約28万冊、雑誌約510誌、視聴覚資料約850タイトルをコンピュータで集中管理。必要な資料をスピーディーに入手できます。ゆったりと、自然光を取り入れた気持ちの安らぐ空間設計も特徴。地域に開放された図書館です

**語学センター**  
語学センター長 宇野 昌樹 | Masaki UNO  
国際学部教授



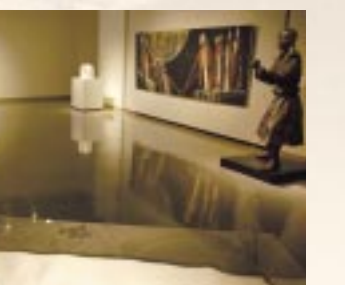
語学センターの各教室はCALL(コンピュータ支援言語学習)システムを備え、通訳訓練やオンライン翻訳といった授業だけでなく、英語のリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングを徹底的に訓練する、Webを利用した自習形式の集中講座用の教室としても利用されています。自習室では、約2,700の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK各言語講座テキスト・CDが利用可能で、リアルタイムの外国テレビ放送を視聴できるなど、語学学習を授業・自習ともにサポートする、快適な学習施設です。留学や外国語の試験情報も提供しています。

**情報処理センター**  
情報処理センター長 北村 俊明 | Toshiaki KITAMURA  
情報科学研究科教授



キャンパス情報ネットワークやインターネット接続のための通信機器を備え、高速で高品質の各種情報通信サービスを提供しています。情報処理実習室にはパソコン約200台が設置され、情報処理教育や学生の自習に活用されています。また、講義棟に設置された遠隔教育設備の技術支援や大学情報サービスの運用管理の支援を行っています。

**芸術資料館**  
芸術資料館長 植草 正勝 | Masakatsu UEKUSA  
芸術学部教授



平山郁夫、久保守、淀井敏夫、喜多俊之、ヴィコマジストレッティなど、国内外の作品を、芸術参考品として収蔵。企画展を開催するなど市民に公開しています。



# キャンパスライフ



入学式



8月 7日(火)・8月 8日(水)  
オープンキャンパス  
キャンパス見学や学部紹介、ミニ授業など、本学志望者や保護者に大学を公開。



地域のお祭りでおみこしかつぎ



卒業式

4月 1日(日)～4月 8日(日) 春季休業  
4月 2日(月)～4月 6日(金) 在学生定期健康診断  
4月 4日(水) 入学式  
4月 5日(木)・4月 6日(金) オリエンテーション  
4月 9日(月) 前期授業開始  
4月 9日(月)～4月20日(金) 前期履修手続期間

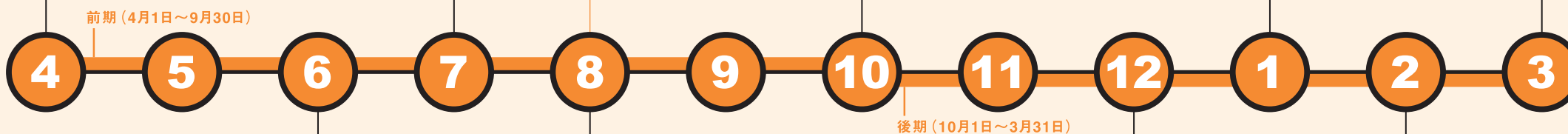
7月24日(火)～8月 3日(金)  
前期定期試験

10月 1日(月) 後期授業開始  
10月 1日(月)～10月12日(金) 後期履修手続期間  
10月27日(土)・10月28日(日) 大学祭

1月 29日(火)～ 2月22日(金)  
後期定期試験

1月 8日(火)  
企業に対する大学説明会  
企業の採用責任者を招いて、教育研究の  
内容の紹介や就職情報を交換。

3月21日(金)  
卒業式



6月14日(木)  
開学記念日(授業実施)

8月 4日(土)～9月30日(日)  
夏季休業

12月22日(土)～ 1月 7日(月)  
冬季休業

2月23日(土)～ 3月31日(月)  
学年末休業



「光と音の響宴」(春の野外コンサート)



お昼休みにみんなで「ハッピーバースデー」



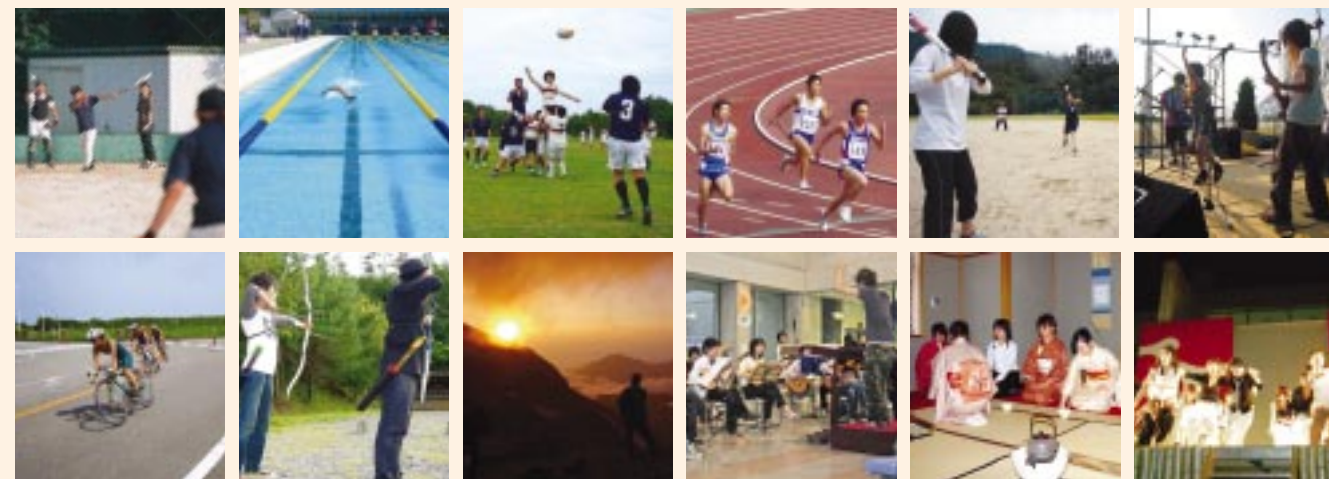
大学祭



笑い、汗、涙……。キャンパスで  
たくさんさんの感動に出逢う。

## クラブ・サークル紹介 Club, Circle Introduction

- | 体育系   | 文化系   |
|---|---|
| <p>[クラブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空手道部</li> <li>サッカー部</li> <li>ラグビー部</li> <li>市大テニス部</li> <li>軟式野球部</li> <li>トライアスロン部</li> <li>剣道部</li> <li>男子バスケットボール部</li> <li>弓道部</li> <li>アーチェリー部</li> <li>バドミントン部</li> <li>男子バレーボール部</li> <li>陸上競技部</li> <li>ワンダーフォーゲル部</li> <li>水泳部</li> <li>女子バレーボール部</li> <li>少林寺拳法部</li> <li>合気道部</li> </ul> | <p>[クラブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダンス部</li> <li>女子バスケットボール部</li> <li>テコンドー部</li> <li>女子ソフトボール部</li> <li>卓球部</li> <li>けんだあま(けん玉)</li> </ul> <p>[サークル]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FC海人(サッカー)</li> <li>プザービーター(バスケットボール)</li> <li>T.A.S(ソフトテニス)</li> <li>TENSION(硬式テニス)</li> <li>SPLIT(ボウリング)</li> <li>ダイヤモンドダスト(テニス・スキー)</li> </ul> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>羽美勝豚(バドミントン)</li> </ul>   |
|   | <p>[クラブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茶道部表千家</li> <li>裏千家茶道部</li> <li>自主制作映画研究会</li> <li>農学部</li> <li>Music Art Club</li> <li>陶芸部</li> <li>マンドリン・ギター部</li> <li>吹奏楽部</li> <li>演劇部</li> <li>Table Game研究会</li> <li>上田宗箇流茶道部</li> <li>電子音楽部</li> <li>版画部</li> <li>CREATIVE</li> <li>しゃみせん友の会</li> <li>市大新聞部</li> <li>Focus on Asia Club</li> <li>マスコミ研究会</li> </ul> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真部</li> <li>ねっこ広島</li> <li>熊貓(パンダ)会(中国語)</li> <li>Sign(手話愛好会)</li> <li>国際学部学生自治会</li> <li>MORE</li> </ul> |





# 地域と世界と共に歩み、共に成長する大学をめざして 地域・世界に開かれた大学



## 広島平和研究所

平和の創造へ向け世界に情報を発信

### 核兵器の廃絶と世界平和の創造へ

世界初の核兵器による被爆を体験した「広島」。広島平和研究所は、その歴史を背景に広島市立大学の附属研究機関として開設されました(平成10年4月)。平和に関する学術研究を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、世界平和の創造・維持と地域社会の発展に貢献することを目的としています。

#### 主要な研究領域

- (1) 核兵器に関する諸問題の研究
- (2) 「平和」に関する理論的研究
- (3) アジア太平洋地域における平和の構築に関する研究
- (4) 国際規模の犯罪に関する研究

### 平和実現に向けた研究活動<プロジェクト研究>

平和研究所では、当研究所研究員が中心となり、国内外の研究者や専門家等の参画を得て、特定のテーマの下に共同で研究を行う「プロジェクト研究」を実施しています。この成果を報告書として出版し、広く発信します。(★は平成19年度実施中のもの。▽は平成18年度まで。)

#### 核問題、核廃絶・軍縮に関する研究

- ▽21世紀の核軍縮研究会(出版済)
- ▽東アジアの核軍縮の展望(報告書作成済)
- ▽NPT体制の再検討—広島・長崎からの提言(公開ワークショップ)
- ▽1954年ビキニ核実験による被ばく状況の実相(ミニプロジェクト)
- ▽日米の芸術と大衆文化に表れた原爆と核戦争(出版準備中)

#### 平和と戦争・紛争の理論に関する研究

- ▽新介入主義の正統性と合理性に関する研究会(出版済)
- ▽市民に対する軍暴力:比較史的的分析(出版済)
- ▽集団殺戮と集団暴力に関する比較研究(出版準備中)
- ▽空爆と市民—20世紀の歴史(出版準備中)

#### アジア太平洋地域の平和に関する研究

- ▽東アジアの信頼醸成メカニズムに関する研究
- ▽北東アジアの対立と協調(出版済)
- ▽マンマーマーピース・イニシアチブ(出版済)
- ▽「呵責」の政治学:北東アジアの集会的記憶(出版準備中)
- ★相互依存的な二つのコリア:朝鮮半島の平和に向けて
- ★東南アジアにおける二国間主義と多国間主義



ワークショップ



連続市民講座

### 学生、市民、そして世界への情報発信

左記プロジェクト研究のほか平和研究所の活動状況は、逐次ホームページやニュースレターにより世界に向けて情報発信しています。また、「国際シンポジウム」や「連続市民講座」等も開催し、市民に研究成果を広く公開しています。本学においても、「広島・長崎講座」として開講している「平和と人権A(ヒロシマと国際平和)」、「平和研究Ⅰ/Ⅱ」、夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」の各講座に対し、研究員が講義を担当しているほか、大学院国際学研究科において「国際関係論A/B」を担当するなど、当研究所の研究成果を教育にも活用しています。

#### 広島平和研究所長

浅井 基文  
Mototomi ASAI

日本政治外交論  
国際関係論

#### 教授

Christian P. SCHERRER

民族紛争  
紛争解決

#### 准教授

金 聖哲  
Sung Chu KIM

アジアの社会主義体系  
朝鮮半島問題

#### 講師

Robert A. JACOBS

科学技術史  
核兵器の歴史・文化

#### 講師

永井 均  
Hitoshi NAGAI

日本・フィリピン関係史  
戦争犯罪論

#### 助教

高橋 博子  
Hiroko TAKAHASHI

アメリカ史  
グローバルヒストリー

#### 教授

Narayanan GANESAN

東南アジア政治  
国際関係

#### 教授

田中 利幸  
Toshiyuki TANAKA

戦争犯罪  
戦争史

#### 准教授

水本 和実  
Kazumi MIZUMOTO

核軍縮  
安全保障

#### 講師

金 美景  
Mikyung KIM

社会学  
北東アジア問題

#### 講師

佐藤 義明  
Yoshiaki SATO

国際法  
アメリカ法、憲法

#### 助教

竹本真希子  
Makiko TAKEMOTO

ドイツ近現代史

## 社会連携センター

センター長  
大場 充  
Mitsuru OBA

情報科学研究科教授

知的財産マネージャー  
加藤 直規  
Naoki KATO

社会連携センター教授

広島市立大学は、「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念とし、国際、情報科学、芸術、平和の各分野における研究活動の成果を社会に還元する取り組みを活発に行っています。

この度、本学の教育・研究成果、人材、施設等を活用して、産学連携及び地域貢献をより効果的に推進するため、従前の産学官連携推進室の機能を拡充改組し、新たに「社会連携センター」を設置しました。

「社会連携センター」は、「産学連携推進」「地域連携推進」「プロジェクト研究」「知的財産マネジメント」の窓口を一元化した組織であり、このセンターを核として、地域社会に貢献していくためのさまざまな取り組みを行っています。

#### 【産学連携推進】

(研究成果を産業界等に還元することによる社会貢献)

- 研究シーズと企業ニーズのマッチングの推進(リエゾンフェスタの開催等)
- 共同研究・受託研究の促進
- 企業等からの技術相談への対応

#### 【知的財産マネジメント】

- 知的財産の権利化、管理、技術移転
- 教職員への知的財産教育

#### 【地域連携推進】

(行政や市民団体との協働による社会貢献)

- 行政課題解決への協力
- NPO、市民などの協働事業
- 生涯学習支援

#### 【プロジェクト研究】

- 大学の有する知的財産の社会への還元・実用化を積極的に推進する研究
- 行政課題解決を推進する研究



リエゾンフェスタ



旧中工場アートプロジェクト(ワークショップ)

## 国際交流

### 海外学術交流協定大学への学生派遣

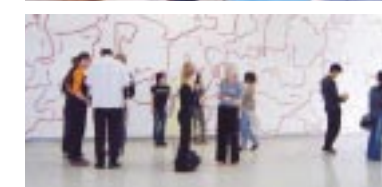
本学は、ハノーバー専科大学、アラヌス大学、ベルリン・バイセンゼー芸術大学(以上ドイツ)、ハワイ大学マノア学校(アメリカ)、オルレアン大学(フランス)、西京大学(韓国)、西南大学(中国)の7大学と学生交換事業を行っています。学生交換事業による留学は、本学に在籍したまま上記の大学へ半年、あるいは1年間留学するものです。語学力を高めることができるだけでなく、派遣先の大学で取得した単位は、一定の条件のもとで本学の単位に認定されるので、計画的に単位を取得しておけば留学によって在籍期間を延長することなく卒業することができます。

### 海外語学研修参加による単位取得

本学から毎年たくさんの学生が海外で行われる短期語学研修に参加しています。研修に参加すると語学科目(2単位)が認められる制度があります。本学で開講されている8外国語すべてが対象になります。

### 海外から留学生を積極的に受け入れ

広島市立大学では、各国からの留学生、特にアジアからの留学生の受け入れに積極的に取り組んでいます。そのために、日本語や日本の事情を学ぶ科目を充実させ、奨学金の紹介や外国人教員の任用を進めています。



## 公開講座

### 地域のニーズに応じて

社会全体の生涯学習ニーズの高まりのなかで、身近な生涯学習機関として大学の果たす役割は大きいものがあります。広島市立大学では、こうしたニーズに適切に対応していくため、広く市民の方を対象とした、様々な分野での公開講座を積極的に開催しています。また、広島市教育委員会などが主催し、各大学が連携して公開講座を行う「シティカレッジ」にも参加しています。公開講座は、開学した平成6年度から実施しており、平成18年度は、次の内容で開催し、約400名の方が受講されました。

#### [平成18年度公開講座]

##### 国際学部

連続講座「広島から考える国際化～市民とつくる公開講座～」

##### 情報科学部

- 講演会「地球規模環境破壊～熱くなる地球～」 「移動無線通信の光と影」  
連続講義「情報科学の基礎～画像処理の基礎技術と応用～」  
実習「基礎からのパソコン活用術」  
・ブログを始めよう!～インターネットによる情報発信～  
・Outlook Express/Internet Explorerとさよならしよう!

##### 芸術学部

<一般向け公開講座>

- 「日本画コース」  
風景画の制作  
「油絵・版画コース」  
油絵専門コース:人体F20号の制作  
油絵一般コース:人体F15号の制作  
版画コース:石版画の制作  
鋳造で人体彫像の制作

「デザイン工芸コース」

- 金属造形コース:鍛造によるナイフ、フォーク、スプーンの制作  
視覚造形コース:パソコンでカレンダーをつくる  
「アニメーションアカデミー」  
国内著名作家を招いての講演・ワークショップ、計4回

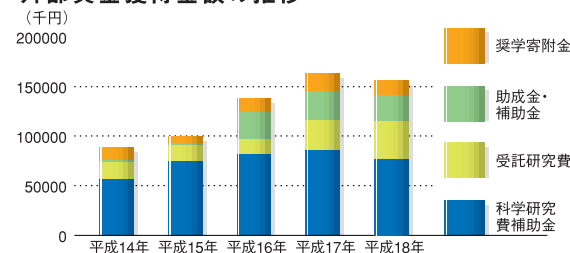
<中・高校生向けサマースクール>

- 「日本画コース」  
4号程度の日本画制作、日本画材料体験など  
「彫刻コース」  
木炭デッサン、粘土制作  
「油絵コース」  
石膏デッサン及び講評会  
「デザイン工芸コース」  
立体作品の制作及び講評会など

## 外部資金の活用

本学の教員は、国の制度である科学研究費補助金や民間の各種財団からの助成金を受けて積極的に学術研究活動を展開しています。これらの外部資金を活用し、独創的・先駆的な研究に取り組んでいます。

### 外部資金獲得金額の推移



### 平成19年度科学研究費補助金

学部	(1) 申請交付決定状況		(2) 交付決定内訳	
	申請状況	交付決定状況	研究種目名	交付決定額
国際学部	26件 59,758千円	13件 24,600千円	基礎研究(A)	1件 7,900千円
情報科学部	76件 128,097千円	30件 37,200千円	基礎研究(B)	4件 14,200千円
芸術学部	4件 29,339千円	2件 2,100千円	基礎研究(C)	20件 22,800千円
平和研究所	8件 10,500千円	5件 4,800千円	萌芽研究	1件 1,600千円
合計	114件 227,694千円	50件 68,700千円	若手研究(B)	24件 22,200千円
内定率		44%	合計	50件 68,700千円



■ 何人募集するの？

学 部	学 科 ・ 専 攻	入 学 定 員	募 集 人 員				
			一 般 選 抜		特 別 選 抜		
			前 期 日 程	後 期 日 程	推 薦 入 学		外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 ※(注2)参照
		市 内 公 募	全 国 公 募				
国 際 学 部	国 際 学 科	100	60	20	10	10	若 干 名
情 報 科 学 部 ※(注1)参照	情 報 工 学 科	210	130	40	20	20	若 干 名
	知 能 工 学 科						
	シ ス テ ム 工 学 科						
芸 術 学 部	美 術 学 科	10	10				若 干 名
	日 本 画 専 攻	20	20				若 干 名
	油 絵 専 攻	10	10				若 干 名
	彫 刻 専 攻	40	40				若 干 名
	計	40	40				若 干 名
	デ ザ イン 工 芸 学 科	40	40				若 干 名
計	80	80	若 干 名				

(注1)情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属(各学科定員:70人)は2年次前期終了後までに行います。  
(注2)外国人留学生特別選抜の募集人員「若干名」は、一般選抜の募集人員に含まれます。

■ 試験はいつ？

	出 願 期 間	個 別 学 力 検 査 等 期 日	合 格 発 表
推 薦 入 学 (国際学部・情報科学部のみ)	平成19年11月 1日(木)～平成19年11月 7日(水)	平成19年11月17日(土)	平成19年11月27日(火)
前 期 日 程	平成20年 1月28日(月)～平成20年 2月 6日(水)	平成20年 2月25日(月) (芸術学部は下表の日程)	平成20年 3月 7日(金)
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜			
後 期 日 程 (国際学部・情報科学部のみ)			

学 科 ・ 専 攻	日 程	備 考	
美 術 学 科	日 本 画 専 攻	第1次 (実技)2月25日(月) / 2月26日(火) 第2次 (実技)2月 29日(金) / 3月 1日(土)	第1次実技検査の合格者は募集人員の4倍程度
	油 絵 専 攻	(実技)2月25日(月)～2月28日(木)	
	彫 刻 専 攻	(実技)2月26日(火)～2月29日(金)	
	デ ザ イン 工 芸 学 科	(実技)2月25日(月)～2月27日(水)	

(注)外国人留学生特別選抜試験では、全学科で面接を行います。

■ 昨年は何人受験したの？

学 部	学 科 ・ 専 攻	試 験 区 分	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	倍 率
国 際 学 部	国 際 学 科	推 薦 入 学 (市 内 公 募)	17	17	12	1.4 倍
		推 薦 入 学 (全 国 公 募)	46	46	15	3.1
		前 期 日 程	203	188	76	2.5
		後 期 日 程	244	120	22	5.5
情 報 科 学 部	情 報 工 学 科 知 能 工 学 科 シ ス テ ム 工 学 科	推 薦 入 学 (市 内 公 募)	27	27	18	1.5
		推 薦 入 学 (全 国 公 募)	34	34	22	1.5
		前 期 日 程	336	310	157	2.0
		後 期 日 程	417	161	54	3.0
芸 術 学 部	美 術 学 科 日 本 画 専 攻 油 絵 専 攻 彫 刻 専 攻 デ ザ イン 工 芸 学 科	前 期 日 程	43	41	13	3.2
		前 期 日 程	65	64	23	2.8
		前 期 日 程	24	24	11	2.2
		前 期 日 程	157	145	52	2.8

■ 合格者の成績は？

学 部	試 験 科 目 区 分	配 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点
国 際 学 部	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験	600	512.20	389.00	460.32
	個 別 学 力 検 査 等	400	309.00	185.00	243.42
情 報 科 学 部	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験	1,100	844.40	567.00	682.29
	個 別 学 力 検 査	700	511.00	299.00	387.28
芸 術 学 部	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ※個別学力検査等の成績は非公開	600	540.40	174.00	375.44

(注)1.各得点は、小数点第3位を四捨五入しています。2.配点は、大学入試センター試験の素点を本学の配点に加工しています。

学 部	試 験 科 目 区 分	配 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点
国 際 学 部	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験	400	341.00	282.70	311.94
	個 別 学 力 検 査 等	400	294.00	224.00	254.77
情 報 科 学 部	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験	750	592.75	414.00	508.00
	個 別 学 力 検 査	350	296.00	123.00	199.78

■ 試験科目は？

学 部 ・ 学 科 ・ 専 攻	学 力 検 査 等 区 分	大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 の 利 用 教 科 ・ 科 目 名		個 別 学 力 検 査 等	
		教 科	科 目 名 等	科 目 名 等	
国 際 学 部 国 際 学 科	前 期	国 地 歴 公 民 数	国(古文・漢文を含む。) 世A、世B、日A、 日B、地理A、地理B 現社、倫、政経 「数Ⅰ・数Ⅰ・数Aから1」と 「数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1」	小論文 (日本語と英語による出題)  総合問題 (現代世界の諸問題に関する 理解力、分析力、思考力をみる)	
	後 期	外	英、独、仏、中、韓から1  [3教科3科目又は3教科4科目]		
情 報 科 学 部 情 報 工 学 科 知 能 工 学 科 シ ス テ ム 工 学 科	前 期	国 数 理 外	国(古文・漢文を含む。) 数Ⅰ・数Aと「数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1」 物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰから1 英、独、仏、中、韓から1 [4教科5科目]	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C 物Ⅰ・物Ⅱ、化Ⅰ・化Ⅱから1 英Ⅰ、英Ⅱ、リーディング、ライティング	
	後 期	数 理 外	数Ⅰ・数Aと「数Ⅱ・数B、工、簿・会、情報から1」 物Ⅰ 英 [3教科4科目]	数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C	
芸 術 学 部	前 期	美 術 学 科	日 本 画 専 攻	国(古文・漢文を含む。) 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理Bから1 現社、倫、政経から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、 数Ⅱ・数B、工、簿・会、 情報から1	実技検査 [鉛筆素描、着彩写生]  実技検査 [石膏像デッサン(木炭)、油彩]  実技検査 [石膏像デッサン(木炭)、塑造]
			油 絵 専 攻	理 総A、理総B、物Ⅰ、 化Ⅰ、生Ⅰ、地Ⅰから1	
			彫 刻 専 攻	外 英、独、仏、中、韓から1	
		デ ザ イン 工 芸 学 科	国(古文・漢文を含む。) 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理Bから1 現社、倫、政経から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数A、数Ⅱ、 数Ⅱ・数B、工、簿・会、 情報から1 理総A、理総B、物Ⅰ、 化Ⅰ、生Ⅰ、地Ⅰから1 英、独、仏、中、韓から1  [3教科3科目]	実技検査 [鉛筆素描、感覚考査(平面)、 感覚考査(立体)]	

■ 願書はどこでもらえるの？

(学生募集要項の請求方法) 推薦入学学生募集要項、一般選抜学生募集要項及び外国人留学生特別選抜募集要項は、平成19年9月上旬に発表する予定です。なお、下記(1)・(2)・(3)の方法で発表時期以前に申し込んだ場合、予約受付ができます。

(1) 本学のホームページから請求

詳しくは本学ホームページ(www.hiroshima-cu.ac.jp)をご覧ください。  
※送料は、資料に同封された支払方法に従い、お支払いください。

(2) テレメール(24時間受付)による請求

① 下記のいずれかに電話して、自動音声ガイダンスに従って操作してください。

インターネット(携帯電話・パソコン)の場合	電話の場合	
(http://telemail.jp) 携帯電話、パソコンとも共通アドレスです。	I P 電 話	050-2015-0555
QRコード ※対応する携帯電話で読み取れます。	大 阪	06-6222-0102

② 資料番号(6桁)を入力またはプッシュしてください。

資 料	資 料 番 号	備 考
大学案内及び入学選抜要項	566200	発表時期以前の申込は予約受付
推薦入学学生募集要項のみ	586210	発表時期以前の申込は予約受付
一般選抜学生募集要項のみ	586200	発表時期以前の申込は予約受付
大学案内及び一般選抜学生募集要項	546300	発表時期以前の申込は予約受付

③ あとは音声ガイダンスに従って登録してください。

※送料は、資料に同封された支払方法に従い、お支払いください。

(3) 郵便局での請求

(10月から案内開始。一般選抜学生募集要項に限る。)  
郵便局(普通局・特定局)に設置されている「全国 国公立大学・短期大学、私立大学・短期大学募集要項(願書)請求申込書」(郵便局専用入学願書カタログ)に必要事項を記入のうえ、募集要項のみ請求する場合には210円、大学案内も同時に請求する場合には290円に払込手数料100円を添えて、お近くの郵便局に申し込んでください。

(4) 本学に直接請求

(すべての募集要項共通)  
受取人の郵便番号、住所、氏名を明記した返信用封筒(角形2号:33.2cm×24.0cm)に290円分の切手を貼付のうえ、「○○○学生募集要項請求」(○○○には、募集要項名を記入してください。)と朱書きし、下記へ申し込んでください。  
【申込先】 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号  
広島市立大学事務局入試担当

【(1)、(2)、(3)での請求についてのお問い合わせ先】  
TEL 050-2015-5050 (9:30～18:00) テレメールカスタマーセンター  
【入学試験に関するお問い合わせ先】  
TEL 082-830-1503 E-mail:nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp  
広島市立大学事務局入試担当